京城日報

六日夕刊

定價　一部金二錢五厘　一ヶ月金六拾錢
廣告料　五號活字一行金七拾錢
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　大口政太郎
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社
電話番號

○土國皇儲暗殺使嗾者
使嗾者は陸相―下手人は皇儲の副官

巴里來電に曰く土耳其皇儲ユスフ、イゼデインの暗殺に關し最近新に判明せる所に據れば皇儲暗殺使嗾者は陸相エンヴエルバシヤにして同々教主の邸宅に於て暗殺の密議を凝したるものなり而して實際の下手人は皇儲の副官バフサンベーなりと（倫敦電報）

○獨軍一千包圍さる
逆襲八回に及べども敗る

巴里來電に曰く、ブランデンブルグの兵は今尚ほドーモン砲臺にて包圍せられ其數一千と註せらる敵は專ら之を救援せんとて努力し逆襲八回に及べりと雖ども悉く失敗に終りたり二月三十一日以來此方面のみにて歩兵隊の攻撃二十六回に及び他の方面にて五回を算せり要するに獨軍は若干の地を得たれども一回たも勝利らしき勝利を得ず（倫敦電報）

○ヴエルダンの猛撃
ドーモン附近獨軍の勝利

巴里よりの報道に據ればヴエルダンの北方に於て猛烈なる砲撃ありたり又伯林よりの報道に據れば獨軍はドーモン附近の戰鬪に於て一千名の捕虜並に多數の大砲を鹵獲せりと（紐育電報）

○ドーモン破らる
獨軍進出＝市街戰となる

佛國公報に曰く、ドーモンに於ける獨軍は幾回と無く攻撃を試みて失敗せる後終に同市に進出するを得たり目下市街戰續行中なり（倫敦電報）

○ドーモン敗戰の影響

ヴエルダンの二百三高地と稱すべきドーモン砲臺獨軍の占領に歸したる結果全くヴエルダンの運命を決し陷落は唯時日の問題となれり之が爲め獨軍は再び優勢の位置を占むるに至り聯合軍側の蒙る打撃甚大にして餘勢影響を東洋方面殊に支那に及ぼし來るべしと觀測せらる（東京電報）

○城の内外相疑ふ
武昌市民の恐慌

漢口來電に曰く武昌の警戒は二日夜も嚴重にして市民の恐慌は尚ほ未だ已まず軍隊は總出にて警備し武昌河岸に碇泊中の支那軍艦三隻驅逐艦三隻は何れも高く煤烟を揚げ萬一に備へ居れり然れども其の何者か爆發すべきかを明かにせるものなく城内の守備兵に問へば城外の軍隊爆發の恐れありと稱し城外の守備兵に聞けば城内の軍隊頗る怪しと云ひ互に其の擧動を疑ふものゝ如く諸言は尚ほ紛々たり（門司電報）

○北兵勇ならず
馬繼增の死は暗殺

長沙來電に曰く寶慶より退却せる討伐軍の一部五千名到着せるが寶慶は貴州軍に占領されたりとの報あり討伐軍は住民を苦しめ掠奪をなすには強きも南軍に對して勇ならず規律も紊れ居れり第六師團長馬繼增の自殺は其實は部下に暗殺されしなり軍は連敗し寶慶縣は貴州軍に占領されたりとの報あり寶慶長沙間は三百里にして貴州軍今日の形勢ならば長沙も戰鬪區域たらんと一般人民は恐慌し居れり人民の最も恐るゝは北兵の暴行なり（門司電報）

○地中海に我軍艦
二隻出現は虛說

帝國軍艦富磐手歳及び春日の三艦が地中海に出現せりとの外電ありたるが右に就いて與論方面府の某氏は右は全くの虛說にして春日を除く二艦は地中海とは反對の地點にあり出現せし[illegible]

[illegible]獨逸海軍の近頃の行動は[illegible]を搔かんとするの主力にて武士道を外れたるものたり然るに獨逸は常に國の恐れる事甚しければ[illegible]に對し今後感情を損ねる如き行動を採る事あらざるべし（門司電報）

○石川選擧事件

大審院に於て審理中の石川縣選擧無効訴訟事件口頭辯論は十日開廷の事に決せり（東京電報）

○染料會社行惱

染料會社工場設立地に就き東京及び大阪方の暗闘激烈を極める結果政府の干渉となり成立に行惱を來せり（東京電報）

○外交團招宴

七八の兩日に亘りて石井外相は外交團の招宴を催ふすべしと（東京電報）

○記者團招宴

大隈首相は六七の兩日在京各新聞社代表記者團の招待宴を催す（東京電報）

○青木中將動靜

北京滯在中の青木中將は五日袁總統に面謁せり七日北京出發後上海に向ふ豫定なりと（北京電報）

○岡陸相

岡陸相の歸京は六日の豫定なりしが九日に延期せり（東京電報）

○安東臺灣總督歸任

安東臺灣總督六日午前八時大阪驛通過同十一時神戶出帆の信濃丸に搭乘して歸任した（大阪特電）

○支那歸客談 通過

支那を視察して歸東の途に在る某實業家は京城通過の際支那の近況に就て語つて曰く、久しく行惱み居りし[illegible]

▲撫順與京間の輕便鐵道は愈工事費百二十萬圓にて敷設することに決定せるが工事着手期は不明なるも同鐵道が完成せば與京方面の物産は勿論[illegible]の增加[illegible]べしと

▲[illegible]

▲湖北獨立すべしとの風說[illegible]支那官憲は軍隊警察等に命令して出入人を嚴重取調支那人にして議論の疑を以て銃殺せらるゝもの多數に達し戰々競々として老幼婦女は共に逃げ支度をなし道具を片付け漢口其他に逃げ支度する等非常の混亂を極め其慘狀たる光景は恰も第一革命當時と同樣にて各商店は休業の止むなきに至れり尚ほ聞く所に依れば王將軍も漢口方面に逃支度をなせる樣子なり

▲宜昌方面より 四川返て北軍の糧食兵器輸送の爲め大混雜を極め支那人の勞働者[illegible]上げられ爲めに貨物用の船舶は入れに窮し本邦商人も非常に困難を感じ居れり

○簡易保險と朝鮮
植民地に施行せず

今期議會を通過せる簡易保險は既報の如く愈よ本年十月より實施することなり施行細則に就ては目下遞信省に於て審議中に屬するを以て窺知し難きも該保險は議會に於て政府委員の説明せる如く其の實施區域は單に我内地即ち遞信省管内に限るものにして朝鮮、滿洲、臺灣、樺太等の如き植民地には適用せられざるものなり然れども該保險の加入者が加入後植民地に移住したる場合は之れに對して如何なる方法を執るかは尚疑義の存する所にして植民地には未だ何等の交渉なき模樣なれども如何に成行くや今後に於ける遞信省の決定に俟つべきものなりと

○京城重要移出入品

京城稅關に於て取扱ひたる二月中の京城移出品の重なるものは牛皮の三萬四千二百十四圓煙草の一萬二千九百六十四圓等にして其他合計九萬四千百八十五圓なるが輸移入品にありては生金巾及び生シーチングの十萬八千五百五十六圓、小包郵便物の九萬九千七百五十三圓[illegible]

○[illegible]總長動靜

[illegible]

○松村侍從武官

[illegible]

○研修會講演者

八日水曜日[illegible]總督府第二會議室に於て開催さる研修會講演者は奏任官側よりは[illegible]判任官側よりは[illegible]にして道回は[illegible]に屬する判任官は必ずしも聽講するに及ばずと

○朝鮮瓦電總會

朝鮮瓦電會社は二月廿八日第十一回定時株主總會を東京に於て開會左の諸件を決議したりと（東京）
（一）第十一回自大正四年八月一日至同五年一月三十一日營業報告、貸借對照表、財産目錄、損益計算書、利益配當案承認の件
（二）監査役坂田文吉辭任、同前島、竹田銀太郎任期滿了に付改選の件、竹田銀太郎重任、坂田文吉補缺選擧は當分缺員となし置く事

○弘濟丸繼續傭入

日本郵船會社より傭入れし居る弘濟丸は本月末を以て契約滿期となるが鐵道院は[illegible]に於ては目下[illegible]て修繕久は定期航路[illegible]場合には關釜の連絡不便甚だしきより[illegible]弘濟丸を傭入する事に内定し居れりと（釜山）

群山

▲害蟲發生 群山附近一帶の果樹は概して稼蟲其他害蟲の發生して果樹園の災害を被りつゝある者夥しく特に冬季間の天候が近年稀有の溫暖なりし爲め害蟲の發生蔓延を著しく果樹園の如きは概ね害蟲繁殖所の觀あり而かも果樹栽培者の或る者は被害樹の驅除に勉めざるを以て漸次他の良圃を侵すの恐れあるに至り[illegible]當局の[illegible]驅除の方法を講ずべく目下實地に就て調査しつゝありと

江景

▲織組合創立 [illegible]の如く去月二十日創立總會を開催し創立の結果理事として[illegible]内村[illegible]、提原新造[illegible]藤本忠次[illegible]等八名當選し五氏當選せしが理事長として[illegible]二十五日更に役員會を開き議決したるが事務所は江景學校組合事務所内に設く事に確定したりと

▲[illegible]

木浦

▲二月中貿易額 當港二月中の貿易額は輸移出額三十二萬二千六百四十三圓輸移入額十三萬八千六百九十一圓合計四十六萬一千三百三十四圓にして前月に比すれば輸移出四十二萬六千七百八十五圓輸移入四萬三千三百圓の激減なりと

▲棉花移出高 當稅關の調査に依れば二月中に於ける當港棉花移出額は五十萬一千八百四十斤十七萬三千六百六十圓にして一月中に比し實に九十七萬九千六百十斤三十一萬六千九百五十五圓の激減なりと

▲木浦驛二月成績 二月中木浦驛の營業成績は[illegible]

▲二月出入船舶 當港二月中出入船舶は入港汽船三十六隻二萬一千四百四十二噸出港汽船三十六隻二萬六百六十七噸なり

大邱

▲[illegible]軍記念日祝賀 來る十日は[illegible]十周年記念日に相當し例年の祝賀を[illegible]本年は盛大に擧行せんとの議あり過日來軍人分會に於て協議中なりしが愈々軍人分會[illegible]大に擧行すべく目下諸般の準備中なり

▲淸道地方金融 近時市場其の他商取引の昂騰に反し穀價は引續き弱く且つ少數貯米者も持久に耐へざる風あり尚ほ第二期稅金の納付[illegible]金融は幾分通過の氣合なきにあらざれども[illegible]で閑散裡に越月したるを以て金融業者も不出不入の有樣にて客月上中旬迄は舊正月の爲め閑散を極め組合業務も下旬以降の營農準備資金の需用に喚起し幾分貸出の增加を見たり

▲市場開設さる地方 慶北達城郡達西面新塘洞附近に於ける洞民の發起にて市場開設を企て大邱上町鑑石識太郎氏は洞民の依頼に依り地形其他の實地踏査の爲め廿四日新塘洞に出張し調査を遂げ同地駐在所に立寄り市場開設の曉に於て出場する人員の概數其他を訊したるに現下の狀況にては市場を開設するも到底維持困難なるべしとの事なるが尚ほ詳細なる調査を遂げ歸邱したり

▲永川養蠶傳習所 慶北永川養蠶傳習所は大正四年四月二十六日の設立認可たるが本年度に於て之が開設を見し[illegible]經營難の端緒を開きたるも[illegible]維持上に就て困難の事項尠からず[illegible]る經營難を告げ居れるが郡當局は大正五年度は國庫補助[illegible]を持續したき旨三月一日を以て道廳に申請し來れり

釜山

▲岩本法院長の挨拶 今回釜山地方法院長より京城地方法院長に榮轉せし岩本氏は五日官公衙其他會社知己の諸氏を告別の爲歷訪せり七日午前十時三十分發にて京城に赴任の途に就く

□南大門にて　孤村生

滿驛で氷の中を滑つた勢か、十時間を二時間で走る立神丸の速力も遲々、二十七日午前六時半[illegible]に安著、直ちに車を命じ[illegible]に驅け附けて[illegible]を訪ふ、床に起きかして九時四十分發の汽車に乘り京城に向ふ、車中には中村復衞法院検事長の一行あるの他に二三の知客を見るのみ、昨夜の徹宵して用を辨じたる爲か切りに眠を催せさる、車の動搖と人の喧噪とのため眠り得ぬまゝに[illegible]原稿の執筆を[illegible]鐵原驛に著すれば恰かも北鮮驛を[illegible]程なく[illegible]の途上にある若見侍從武官の一行と倶しぬ、鐵原よりは執筆にも倦み、讀書にも飽き、茫然として窓外の風景を眺望す、耕地の麥芽を生ずること二寸、只憾らくば雲雀の囀るなきを如何せん、列車の京義道管内に入りてよりは四園の面目全く一變して、柳の並木に淡綠色の薄絹を張りたらん趣あり、定時より遲るゝこと五十分にして六時二十分南大門著日出町の寓居に入る、是れを以て北鮮視察旅行の千秋樂とする、扨今後に於る紙面の報導や如何に（二十七日）

岳州の地雷騷ぎ

長沙來電に曰く▲武昌駐屯混成第二旅團の砲兵を岳州に向け輸送せしに▲雲南軍の密偵は早くも之を探知し岳州の市外には雲南軍の手にて六十個所に地雷を埋設しあり北軍砲兵の通過するを待ちて之を爆破せしむべきが▲然る時は岳州全滅の慘禍を生ずべきに付城民は其以前に財產を處理して退出すべしとの諸言を放ち▲此旨商務總會に通告せし矢先北軍砲兵來城の報傳はりしかば素破こそと立騒ぎ避難者引きも切らず▲廿七日城外に到著せる北軍砲兵は之が爲入城するを得ず翌朝に至りても鎮靜せざるより▲城内に亂徒ありと解し空砲を放ちて威を示せしに城民は一層驚擾して制止すべからず▲砲兵隊中にも地雷の諸傳はり爲め恐怖の念を抱し約二個大隊の兵は同夜逃亡し▲殘餘のものは團結して指揮官に向ひ一人二百元を請求し應ぜざれば任意武昌に引揚ぐべしと迫りしより▲指揮官は止むなく部隊を城外に止め混成旅團長と善後の協議中なりと（奉天）

□祝京城日報三千號
社前既う車馬の音朗ら春の風　虎耳
吾が俳境界を若く　目池
俳壇十春ホ句三千は無や

□名古屋より

[illegible]

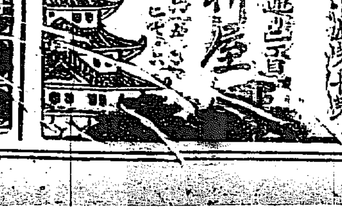
人事消息

▲加藤正義氏（朝鮮瓦斯理事長）東上中の處六日夜歸任
▲大井鐵太郎氏 入京中の處四日夜發東上
▲古城梅溪氏（贊化病院主）福岡へ旅行中の處
▲牧山耕藏氏（朝鮮公論社長）五日東京出發七日午後入京の筈
▲柏原京城鐵道長官 中旬歸京の筈
▲釜井東拓庶務課長 議會開會中東京滯在中の處六日朝歸任
▲福岡大尉（鎭海要塞）四日夜[illegible]

新刊書御案内

書名	著者	定價
國粹中の定石	鈴木為次郎	五〇
淺草物語	久保田萬太郎	九五
短歌三百首	[illegible]	一〇
はやり唄と小唄	[illegible]	八一
詩集正義の兜	佐藤[illegible]	六〇
山口金井スキー術	大日本新聞學會編	[illegible]
朝鮮名勝詩選	成島湘士	一三〇
無駄なき生活	山脇房子	一〇〇
國語の話	大島正之助	七五
人生の裏面	村上浪六	一〇〇
評論入學試驗問題作文模範答案集		四八
進化原論	谷津直秀	一五〇
雄辯美辭と筆	樋口龍峽	一二〇
姉と妹の手紙	小野美智子	四五
女の裏おもて	[illegible]	九五
名士の斷	柳々村	四五
新生活の創始	佐野[illegible]	八五
日常生活の化學	富永	五〇
英雄風雲錄	石井山江編	五〇
民育要義	山崎延吉	五〇

京城本町 大阪屋號書店 電話二〇八六番 振替京城七三三



東京日本橋 海苔商 [illegible]屋

乾海苔 上十枚拾二錢以上 中十三錢十五錢迄 並七六錢以下
味附海苔 [illegible]
燒海苔 [illegible]
海苔佃煮 [illegible]

店員採用
年齡二十歳以上にて武器火藥業に經驗ある者至急入用希望者は履歴書を添へ申出でられたし
仁川山手町二丁目（電話四九百番）
三共社

藥學生募集 短期速成夜間教授
四月一日ヨリ新學期開始
第三期生日鮮人男女共約百名募集ス
高等小學卒業以上ハ無試驗入學許可
朝鮮藥學講習所 電話二〇四三番
詳細は市内藥店にて問合されたし

敵艇！右舷六浬！
燈火を消せ!!
宮崎丸危機一髪の間を逃る

獨逸潜航艇の跋扈なる爲に依り地中海の航行不能となつた爲め遠く南亞を迂回して歐亞の航路を取るの止む無きに至つた其迂回航路第一回の帰航船たる我郵船會社定期宮崎丸北野丸の二船は四日拂曉六時卅分相前後して入港した、右第一着船たる宮崎丸船長寺中作氏が語る所を聞くに往航共如何に苦心慘憺幾多の危険を冒しての航海なりしかを察するに足るものがある、而も多數の乘客及び貨物を一物の恙も無く一萬數千哩の彼方より運び來つた労苦は偉と云はねばならぬ、氏は日に焼けた顔に疲れを見せつゝ、謙と元氣に語つた、曰く

「本船が日本を發したのは昨年九月廿四日の事で翌な十一月二日早朝無事ポートサイドに著した其迄は至つて穏な航して安全な本航海であつたが其日の正午ポートサイドを出帆して愈々危険區域に入る事となつた所が同港で地中海の危険益々其度を加へ各所に潜航艇の出没頻々遭難船續出すると聞たから一層警戒を嚴にし

◎短艇の用意は 勿論萬一の場合に對する一切の準備を整へて航行を續けたが三日夜十一時ポートサイドから三百五十哩の海上に到つた時本船と殆ど併行して航行してゐる一船があつた、好く見ると其檣上に何等か信號の旗を揭げてゐたが其信號の如何を見定める迄に先づ目に映じたのは其船の後方海上に頻りと水煙の揚がる事だつた、何だらうかと目を瞠て見詰る刹那又も

◎一條の水煙は 高く揚た併し時日没に近く其何事かを容易に見定める事の困難であつた折柄忽然として水平線に姿を現はしたのは一の小艇であつた、云ふ迄も無く獨逸潜航艇である、と咄嗟に感ずると共に本船は直に逃走の準備をした而も本船と其小艇との距離は正に六哩危機一髪の間に方向を轉じ逃走を始めたが唯見れば

◎其小艇は前方 の汽船に向つて停船を命じつゝある如く察せられた兎角する中日は全く沒して洋上次第に暗く本船は全速力を以て反對の方へ〳〵と急いだが暗なる海の彼方横暴なる獨艇の放つ大砲の火光は閃々として物凄く刻々に迫りつゝある不幸なる其汽船の運命は心に懸りつゝあつても如何ともする事叶はず

▲全速力

本船は燈火を滅し約二時間の間矢の如くヒタ走りに走つた不幸なる其船の消息は遂に聞く事を得無かつたが定めし地中海の底深く恨みを呑んで沈没し終つたであらう、本船は斯くて七日夕方無事マルセーユに著いた其後倫敦迄は格別の危険も無く航行を續けたがテームス河口は浮流水雷の多い爲め其入口たるドーバーダウンに

▲卅六時間停船 した後漸く倫敦に入つた、倫敦は依然戰爭狀態であつたが本船碇泊中には一度も飛行船の襲來を見無かつた其頃は一年中最も霧の濃い季節とてツ式飛行船も襲撃が出來無かつたのかも知れぬ、倫敦を發し歸航の途に就いたのは十一月十七日であつたが廿三日から二十五日の間ビスケー灣に於て非常なる大暴風に遭ひ爲に豫定より二日遅れて十二月三十日マルセーユに著いた

▲マルセーユで 初めて八阪丸遭難の報を聞き同時に本社からの命令で四日間同港に停船、更に南亞迂回の命令に接し一月二日マルセーユを出た、再び地中海の三分の一を航行したマルセーユから引返し西へジブラルタルを越て遂に

▲大西洋に出た 亞弗利加西海岸を南下してカナリー島のラスパルイスに寄港更にケープタウン、ダーバンとに寄港して南亞迂回の航海を遂たが目下大西洋は氣候甚だ好く大抵七十度から七十五度位、其上常に南東の風即ち貿易風が吹いてゐるので航海にも至て都合好く海上誠に平穏であつたケープタウンに著いたのは一月二十四日、同所は

▲亞弗利加南端 にある古い港で小さい町ではあるが人口七萬五六千程ある、ダーバンは其所から八百四十哩程ある新らしい港で附近から石炭も澤山出るから大抵船は其所へ寄る事となつてゐる同港は將來有望な港で本船が著いたのは廿七日廿八日に同港を出帆、其後別に海上不安無く古倫母に著いたのは二月十日であつた

▲航程二萬浬 普通航路を地中海に取れば横濱から倫敦迄一萬二千五百哩であるが南亞を迂回すれば一萬七千二百餘哩あるに本船は其上マルセーユに一度寄港し再び出でてカナリー島迄の分千五百五十哩を合せ航海した譯である、其から獨逸の武裝商船がマデーラ附近に出沒して聯合國の汽船に危害を加へつゝある事は古倫母で聞いたがこれは

■潜航艇以上に 危險であると云はねばならぬ、併し遠方からは普通汽船か武裝汽船か判ら無い、开うかと云つて船とさへ見れば直ぐ逃げると云ふ譯には行かぬ無いし殊にマデーラの如きは英本國及び亞米利加亞弗利加へ行く船も皆通航の要路にあるので彼の邊に待てゐられては甚だ航海上困るカナリーからケープタウンの間を航行中加茂丸からの無線電信を受けたし、往航の途にある讃岐丸とは互に船體を見ながら一つは北へ

■一つは南へと 航行した、其外逢つた船は三隻位のものであつた北野丸とは一晝夜の遊びで前後に航行してゐたから絶えず無線電信で安否を尋ね合ひつゝ來た、香取丸にはケープタウンとダーバンの間洋上で無線電信の交換をするし鹿島丸とはダーバンで入違になつた(大阪支局)

◎「支那は吾等の生命」
特赦により出獄せる
天鬼昂然として抱負を語る

福岡小倉監獄に拘置中の天鬼事鈴木益三、白龍事早崎貞雄、白龍鬼事鈴置守次等十六名は四、五兩日特赦出獄し一同門司入坂旅館に投宿中なり天鬼は往訪の記者に語て曰く「吾等今回圖らずも特赦放免され聖恩に感泣し居れり過去一箇年の支那の形勢の變化は寔に隔世の感あり支那は是れ吾等の生命なるも同志中糖尿病にかゝり其他健康を害せる者もあれば此處暫く休養を要し一兩日中當地發汽船にて内海の風光を賞し一先づ東京に至る筈過去に於て吾等は三度失敗を爲し其都度多數の犧牲を拂ひたれば將來は一生涯中只一度の成功を期し徐に計畫する筈」と一同元氣旺盛將來の希望に滿ち居れり(門司特電)

◎在郷軍人會記念祝賀會
陸軍記念日當日

來る十日陸軍記念日當日に於て帝國在郷軍人會京龍分會員は同日正午龍山練兵場に集合し祝意を表し同時に駐箚軍隊諸兵聯合の模擬戰爭を見學し終て祝盃を擧ぐる筈因に同日同所に於て京城分會に對し帝國在郷軍人會大會に參列分會記念の壯嚴なる授與式擧行の筈依て同分會員は成るべく軍服にて勳章記章を全部佩用し軍服以外の者は敬意を失せざる服裝にて出席す可しと

◎消防義會組織

消防上の研究及び消防員の救濟を目的とし消防義會と稱するもの近く生るべきが右會員は警務部長、警視、保安及び消防係警部京城府内警察署長兵分隊長を通常會員とし右の目的を贊成するものを贊助會員となす由

◎僞造紙幣行使事件豫審終決

去月廿九日豫審決定せし僞造韓國銀行紙幣行使者申敬億申大文の兩人が昨年中釜山郵便局にて捕へられしより火の手揚り其の連類者として淺沼鶴太郎、木村坂次郎、松原政助、秋元滿助、田村太作を拘引し釜山地方法院豫審に於て高木判事の係りにて審理中なりしが三日孰れも有罪と決定して同法院公判に廻され同嫌疑者として取調べ中なりし山木こと、吉岡庄吉、藤原末吉、村上萬二郎、小山田德三郎、梅崎たつ、淺沼筋治等は免訴となりたり聞く所に依れば下關地方に於て僞造したる紙幣を朝鮮に於て行使せんとしたるものなりと

◎深夜刑事と稱し女を挑む

江原道鐵原郡生れ當時京城西四軒町居住の金春五(二二)は日本語を巧にするより和服を著用し恰かも内地人の如く裝ひて京城の各町を徘徊し二月十七日午後九時頃水標町五十番飲食店廣葉山いそ方に至り三十錢の飲食をなして立去り同十八日午前四時頃同家に立越し賭博中なる家人を驚き起し吾等は先づ取調べて遣ればさ立入りて臨檢をなすと稱し灯を點せしめて各室を臨檢したる上屋女に同衾を求めたるも應ぜざりしより自分は本町警察署勤務の伊東刑事なりと稱し又何も斯る必要はなきも一寸心引きを試ねたるのみなりと言ひつゝ立去り三度同月二十四日午前三時頃同家に立越して呼び起し又々臨檢に來れりと前同樣臨檢したる上自分の顏を覺えて置けなどと言ひ殘して立去り同二十六日午後五時半頃四度立越したるより家人怪しみて其筋に屆出でたるより本町署に引致されたるものなるが取調べの結果同人は二月十七日午後九時頃には黄金町三丁目の飲食店熊本屋事野口方にも立越し本町署の伊東刑事なりと稱し各室を臨檢して屋女に同衾を求めて刎ねつけられたる不敵の曲者なりと

◎冬籠りの女が動き出した!!
女中奉公=酌屋の口=内地から=
衣裳が要らぬ胸算用=北へ〳〵=給金が下る

思ひ出した樣に零下何度といふ寒さが飛び出して來ても、三月に入つては流石に爭はれないもの、郊外に出れば麥の寸の見違へる許りのびたる

▽桃李の枝々 の薄赤く色づきそめたる、何處を見ても春の囁きが聞える樣だ、三寒と四温が馴れ合つてその替り目さへはつきりしない今頃になると例年の事だが、冬を籠つてゐた種々の連中がボツ〳〵と働き出す

▽その中でも 特に際立つて著しいのは女の群だ、嚴冬の頃拂底勝であつた市中の女中下女も漸く多くなつてくる、これは冬の間は寒さを厭うて暖かい南鮮地方に行つたり、樂な飲食店稼ぎをしたり溫突に

▽籠つて徒食 してゐた樣な女が氣候が緩むに連れ言ひ合はした樣に歸つてくるのに因るさうだ、市中の口入屋を覗いてみると偲ういふ種類の女が膝突き合してうよ〳〵して居る、それに寒い間内地に歸つてゐた樣なものも

▽舞戻つてく る、新らしく内地から渡つてくるのも今頃からだ、現に京城の藝妓酌屋、貸座敷業者で新らしい女を内地に求めに行つてゐる者が七八人ある。寒くなし暑くない今頃が内地の上玉を引出して

▽來るに最も い丶時候なのださうだ。又昨今からならば衣裳も多く要らぬといふところから藝妓酌婦の營業を願ひ出る者も多く寒さが烈しくないので

▽北鮮の方に、 行く者もあり又國境邊りから抱へに來てゐるものもある。斯くの如く女が多くなつて來たのと暖かくなつたのとで女中などの給金は幾らか下つて來るのである、隨つてその

▽出代りも繁 くなつてくるのだ。冬の中の樣に妾にでも行つて樂に暮さうといふ樣な不心得なのが無くなる代りに如何はしい女が大分迂路ついてゐる事になる

▽良家などで はその雇ひ入れに餘程注意を拂はなくては厄介なものを背負ひ込むのである。

◎柔道研究會員入段

京城西大門外京城講道館柔道研究會一級大野悦三、同古谷恒俊の二氏は同會の推薦に依り講道館初段に列せられたり

◎松脂三十萬斤を燒拂ふ
損害高三十萬圓

五日午前二時大阪府下西成郡玉手町上杉松脂工場より出火大倉庫二棟納屋二棟松脂約三十萬斤を燒き拂ひたるが損害高は約三十萬圓内外なりと(大阪特電)

◎妻を酌婦に

佐賀縣小城郡東多久村生れ當時京城南米倉町居住松本利一(四〇)は内縁の妻藤瀬ふみ子(三二)を本年二月十七日より永樂町の飲食店村上きち方に酌婦として奉公させ前借金二十五圓を受取りたるものなるが二月二十四日午後十一時頃利一はきち方に立越しふみ子に對し田舍の方に仕替へに行くに依りふみ子を引き渡せときちに迫りたるも應ぜざりしより前借金の爲めにふみ子を渡さねば何時迄も此席を動かぬと強請しつゝふみ子を毆打し暖簾を摑み破り硝子障子を叩き壊すなど損害三圓餘の亂暴を働きたる爲め本町署に引致さる

◎一網四人

仁川警察署管内なる富川郡西面吾丁面道宗里十二統七戸孫永春(五十)同里十一統二戸趙基順(二九)同里十二統三戸張基春(三五)同里七統八戸玄洪允(三四)の四人は二月廿六日午後五時頃前記孫永春方に於て骨牌を弄し一回に一錢宛の掛けにて『コルベー』と稱する賭博を開帳中同所駐在巡査に御用と踏み込まれ四人の博徒は逸早く逃走せしも天網恢々疎にして漏さず本月三日前記の四名が言ひ合はせし如く夜更けて窃に歸宅せしを諸共に引き立てられ仁川警察署に引致せられしが取調の上孫は笞九十其他の三名は同六十宛に即決の言渡を受けたり

◎芋の代金八圓

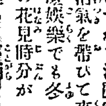
京畿道富川郡富内面馬墳里二統三戸朴炳哲(三一)は三月一日野菜販賣の爲め富平驛發の列車にて京城に赴かんとせる際同里尹章賢停車場に來り同人に對し上京の序に米倉町青物商佐々江香松方に立寄り自分依託の爲め送りたる芋著荷せしや並に販賣濟なるや尋ね來られたしとの依賴を受けたるを代金を受取り來れとの誤認の下に佐々江より芋代八圓餘を受取り尹章賢に之を渡さず其儘横領し被害者の告訴により仁川警察署にて取調の上三月六日檢事局へ送られたり

◎借金で縊死

京城崇信洞百九十五番地金貸業金仁植(三八)は四年前より鍾路六丁目の質屋金熙鉉外三名より借金し之を更に高利にて貸付け居れるも近來貸金の取立捗々しからざるに債主より嚴重なる督促を受くるより悲觀して死を決し五日午後五時頃妻を外出させ置きて自宅内房にて縊死したり親類の屆出に依り鍾路署より醫師出張檢視の上屍體は家族に引渡さる

◎石油五百二箱

鎭南浦府億兩機里崔龍承方勞働者金淳九(三九)同所船渠業鄭龍永(三二)は三和町趙弘政樹が去る一月中崔龍承方に石油五百二箱を保管せしめたるを知り居るより數日前二人共謀の上右石油の中より一箱を竊取し同里の李記善なる者に金四圓にて賣却し山分となしたる事を採知せられ南浦署にて取調中



追々陽氣が春めいて來るにつれて活動寫眞も亦活氣を帶びて來る▲那麽娛樂でも冬と夏とは客足が少く春の花見時分が一番の季節とは成程道理ある事柄であるが春はまた地方の巡業などが盛んにある時期である▲京城に來るヒルムでは西洋物は如何にも自然で面白いけれ共日本物は何うも不自然で厭になるやうなものが尠くない▲例へば豪傑と云へば莫迦に力の強い奴が出て當るを幸ひ薙ぎ倒して了ふ、そして日本人得意の立廻りを演じて盛んにドンチヤン〳〵囃し立てる▲活歴のはあまりに低級で莫迦らしくなるが興業者の方から云ふとあれで無ければ客受けがせぬから駄目だ相な▲これを活動趣味から言ふと東京の客は荒々しいのを好み大阪の客は温順しいものを好む▲又同じ大阪でも朝日座と千日前とは雲泥の相違があるが京城の客は主として前者の東京趣味を驩迎するやうである▲併し何と云つてもヒルムは西洋物でなければ夜が明けぬとは一般の定評▲歐米では一村落一都市總て活動寫眞の役者と背景を有つて居る處さへあるから到底日本などのは及ばぬ筈ですと日活社員の話

登錄商標 本椿香油 大阪 三宅

各宮妃殿下及宮内省御内儀御用之光榮を荷せり
九條公爵家始其他華族貴顯方御愛用の榮を蒙れり
各博覽會にて金銀牌受領
●注意 二錢入共頭上柿なきは僞物
定價 廿錢、卅錢、六十錢、一圓
髮を黑く長くつやを出す
さらく として髮のぬけを防ぎふけあかつかざる事妙なり

體育保全の營養新劑
フェロールを飲めば
病人は力附き虚弱者は健康に健康者は益々強壯に病を知らぬ人となる
昔は保命酒、明治時代に葡萄酒、大正の今日はフエロール也 其美味は何人も喜び病者の見舞に適し酒精分少なき滋養食品なり
大瓶 一ヶ月以上約廿日分 壹圓七拾錢
小瓶 七日以上約十日分 壹圓
創業元祖 大阪道修町 藥種師 小西久兵衛
賣捌は各藥店にあり

代理店
京城南大門通 新井藥房　京城太平通 キムラ藥舖
釜山辨天町 大黒藥舖　木浦 木下藥舖
元山港 石田濟生堂　安東縣市場 井上藥舖

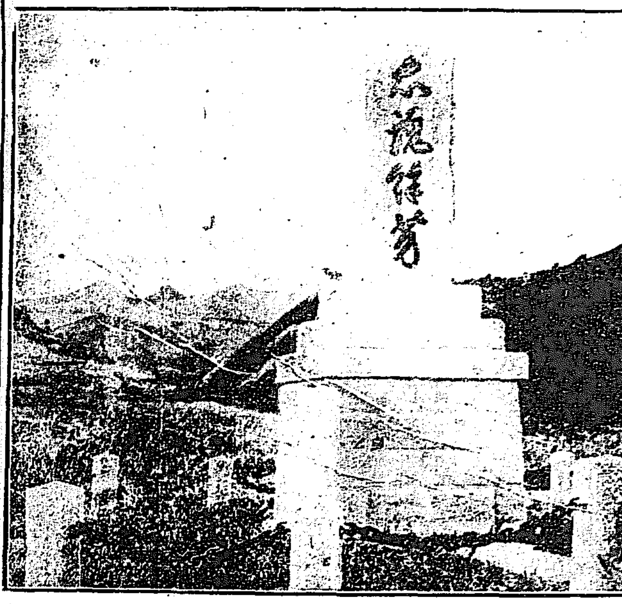
果樹山林苗木廉價販賣
兵庫縣川邊郡長尾村山本
阪上小三郎
振替大阪一九二二三番

鷺印防水劑應用
理想的雨具
本品は完全に防水布たる資任を全ふし得らるゝが故に外部より聊かも風雨の浸る事なく從つて防寒用として充分の効果あり故に防水と防寒とを兼備せる理想的雨具なりと既に實驗各位の甚大なる御高評を博しつゝあり
カタログ進呈
羅紗地質 洋毛織物 絨仕立物 防水地質 卸商
東京市神田區東龍閑町九番地
島村友三郎商店
電話神田(二一二六)
振替東京(一〇一二八)

タングステン鑛、水鉛鑛其他鑛石數量を問はず高價買入申候
京城旭町一丁目百三十番地(御大師前)
中川湊
電話一六二四番

小川に墜落 京城長[...]張檢視の上手當を加へし爲め蘇生したる結果遂に該犯人を逮捕するに至[...]
大德面金東根(三六)▲唐津郡古都面[...]金福德(三八)▲[...]

天氣 晴れ一時曇 三月七日



羅南!!花咲く春(一)
トン〳〵拍子＝素晴らしい勢

駒さへ勇む陽春彌生の三月、木の芽の出る様に世間一般に人氣が非常に活々として來た、南鮮の大邱、京城の龍山と云ふやうな所は師團新設地として又

▲格別の景氣が ついて來た土地が騰貴する家が建つ従つて貸家が殖す人が入込む實に素破らしい勢ひ、傍で見てさへ羨しい位だから土地の人の喜ぶのも尤だ、これと同様の景氣を喚んで居る街が今一つある、事と氷で名高い北鮮の羅南が即ちそれだ以上三地の

▲景氣は三巴の 姿で動いて居る。冬の北鮮と云へば萬象何れも休眠狀態にあると同様に商況沈滞して經濟界又不況を呈するのを例として居るが今年は全くそれがない、昨年の大洪水で傷められて普通なら水害復舊費だの罹災民救助だのと經費は多端で住民は職を失ふ所を

▲天恵は質朴にして順良なる北鮮の住民を祝福してか、昨年末から本年にかけて道路改修、鐵道工事等に多數の勞働者を使ふ、その上今迄見込がないとせられた城津の黒鉛鑛が復活して何百人かの工夫が入込む而かも今年は三十年來未曾の暖氣で防寒設備が割合に入らず仕事は進むのどん〳〵拍子、黄金花咲く土地とは今頃の北鮮のことであらう

▲一大福音

それよりも更に〳〵北鮮民を狂喜せしめた一大福音がある、師團增設決定!!が即ちそれだ、北鮮人就中羅南の人々に取りては元日に男の兒が安產した様な比喩で

▲朝鮮二個師團增設 決定の新聞記事を電報欄で初めて見た時に夢ではないかと喜んだ人もあると云ふが無理からぬことだ、羅南は往年日露戰後に旅團設置の問題が決定して七千人からの内鮮人が入羅した時もあつたが工事が一段落を告ぐると水の引いた跡の様に寂りとして殆ど死地、陥つた此時

▲大部分の内地人は 見切りをつけて去つた、丁度世帶が貧乏になつて夫婦別れをする様に。所が羅南の兵營は國境守備の大任がある必ず日本の國力の進展と共に擴張せらるゝに決まつて居る待てば海路の日和もがなと、出稼人根性を拋棄して殘留した内地人が二千人程あつた其後一人去り二人去りしたけれども

▲今日千八百餘人の 内地人と外に三千人に餘る朝鮮人百人未滿の支那人が居る、是等の内地人は徒手空拳で來た者、多少の蓄財を携行した者の別はあつても堅實な仕事を一の土地に落ついて成功して見たいとの殊勝な考から居殘つた者が多い、遂に海路の日和は來たのである

▲鳥瞰圖

四日からは兵營工事の中で約百軒の將校官舍工事が始まると云のであと

◆一月と迫つた 日を指折數へて待つ請負師や職工が鮮からずある銀行業者や金貸業を營んで居る人に遭つて聞いて見ても此方面に要する事業資金の貸出しが可成活動を初めたさうだ、中にも朝鮮人等は商節季の決濟を兵營

◆工事が始まつて からにして貰ひたいと云ふ要求に對して資本家や債權者側でも默許して居るのは天は自ら助くる者を助くとか、朝鮮の田舍は斯くして健全な發達を遂げて行きつゝある

◆羅南の兵營か 兵營の羅南か興味あるは羅南の將來である、以下項を逐て羅南の鳥瞰圖を讀者の前に披瀝して見よう

羅南忠魂碑

◉五十錢のお灸 仁川内里二百九番地製鞋商李東皓(四〇)は自宅使用中の暖爐の煙突を掃除すべく屡々受持巡査に注意を受けしも唯其時許りネーと答へて一向に實行せず、とあり仁川警察署に呼び出され大目玉を頂戴した上五十錢のお灸を申付けられたり

◉火鉢を窃取す 仁川花町一丁目十九番地の一四鄭貴萬(二九)は仁川濱町の劇場歌舞伎座に被雇中去る二月二十五日午後四時頃他人の隙を窺ひ同座舞臺の裏に据置きありし眞鍮製火鉢一個價格一圓五十錢を窃取し之を他人に賣却せんと柳町の古物商吉垣内某方附近を徘徊中折柄巡回中の巡査に睨まれ仁川警察署へ引致取調の上四日支廳檢事局へ送らる

◉阿片密賣中 京城長谷川町住煉瓦工支那人候錦先(四九)は二月二十六日午後三時半頃阿片を携帶して京城水標橋を通行中を取押へられ取調べの結果阿片を密賣せんと徘徊中と知れ鍾路署より檢事局へ送らる

◉大工の三百圓 大邱本町二丁目大工崔慶道(三七)と云ふ前科者は昨年の十月中上西町李鏡奎方に忍び入り現金三百五十五圓を窃取し永川慶州方面に逃走しゐたりしを大邱署の増村刑事に探知逮捕せられたり

◉水を盜む 京城竹添町三丁目水汲夫朴炫甲(三一)は二月二十七日同町山中某の依頼を受け同人の鍵を以て共用栓より石油罐に水一荷を窃み之を漢井洞の金秉濟に賣りたるを水道係巡視に發見され鍾路署に告發さる

■解警戒（三月六日午前六時仁川觀測所發）西北部警戒を解く（三月六日午前九時發）北東部の警戒を解く

▲烏貝酢の物 とり貝の身を洗つてさつと熱湯に入れ笊へ上げ一つを三つ位に切り皿に盛り生姜を附け合せ三杯酢をかけて出します、三杯酢は味醂と少しの砂糖とを煮返して冷し更に酢と醤油とを混ぜるのであります（赤堀割烹教授）

商況

東京株式特電

六日	前場寄付	大引
日本郵船	一七二、九〇	一七二、九〇
[illegible]	一五二、一〇	一五三、三〇
[illegible]	一二六、三〇	一二六、二〇

債券現物特電

六日東京債券現物値段（前日との比較）[illegible]

公債直取引 特電

[illegible]

深川在米特電

[illegible]

東京期米特電

[illegible]

大阪株式特電

[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

大阪期米特電

[illegible]

雜報

◉洋釘引返報 其後一圓高 [illegible]

◉大阪の買附品 案外に割安 市況は頗る混沌 [illegible]

◉米餅先高說 輸出は支那方面 米餅の集中 朝鮮産の缺乏 [illegible]

◉朝鮮産鰈好況 次第に高調 大邱乘の五十八圓釜山六十圓 [illegible]

利 仲買店 仁川米豆取引所仲買人 [illegible]

◉馬尾鯖と商談 約六割高の見當 [illegible] 一鄕氣乘 [illegible]

◉米油も値上げ 十一錢勝利五圓九十二錢 松栗六圓 [illegible]

◉芳香原料品薄 化學製香料 香水用香料 [illegible]

明太魚持合 [illegible]

下關相場 荷捌遲鈍 [illegible]

田中仲買店 [illegible]

各地商況 ○釜山（五日の穀物）[illegible] ○木浦（四日の穀物）[illegible]

京城正米 [illegible]

南大門の廻米 [illegible]

仁川現物市場 [illegible]

確實迅速 仁川米豆取引所仲買人 [illegible]

仁川期米

▲六日前場十二錢安の入 [illegible]

市場零聞

▲前場不勢 [illegible]

▲當限の不勢 解合說と何か關係 [illegible]

▲前場の手振り [illegible]

▲解合未だし [illegible]

行悩み條件の附 [illegible]

▲不勢に陥る [illegible]

大買氣 [illegible]

沮害解合談裏面の消息 [illegible]

▲大阪成行に就き [illegible]

正米の壓迫未だ去 [illegible]

▲格付發表に就き [illegible]

新米代用米は全 [illegible] 標準米一月限 見て七十錢格上げ 在來種五十錢格下 則ち四十錢格上 [illegible]

仁川米豆取引所仲買人 海岸町 三巴仲買店 [illegible]

仁川米豆取引所 六日の五月限

前場	
寄附	十一圓八十一錢
止	十一圓七十九錢
高値	十一圓八十三錢
安値	十一圓七十九錢
出來高	二萬七千四百五十石

平均値段	
一節	十一圓八十二錢
二節	十一圓八十一錢
三節	十一圓八十一錢
四節	十一圓七十九錢
五節	十一圓七十九錢

賣買取組高	
三月限	四萬二千七百五十石
四月限	一四萬二千百九十石
五月限	一萬三千九百石

四日後場出來値	前日と比較
一〇八八	七安
一〇八八	九安
一〇九〇	七安
一〇八七	八安

演藝案内

大正館 櫻井町 電話八七三 [illegible]

壽館 壽町 電話一〇五〇 [illegible]

黄金館 黄金町四丁目 電話二六二七 [illegible]

浪花館 明治町 電話二六〇番 [illegible]

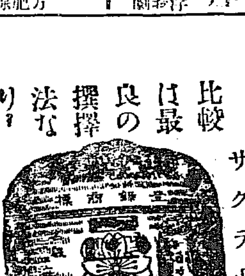
御成座 御成町 電話二九一 [illegible]

ろいれき 病にて永年苦しむ方も手術せず肥大せる腺腫を萎縮消散せしめ後來決して再發せず [illegible] 救生堂

朝米 正 橋本猶 [illegible]

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛凸版 最も熟練せる技術を以て最も迅速と可成低廉を旨とし御高需に應じ候 京城日報社寫眞製版部

資本金 壹百萬圓
政府貸下金 三十二萬九千二百圓
農工債券發行高 八拾萬圓
京城南大門通二丁目 株式會社 漢湖農工銀行
銀行長 白完爀 支配人 遠山熈
支店（開城、春川、江景、烏致院、太田、公州、鐵原、清州、忠州、論山）
電話（局）五二四番 五五五番
當銀行は普通銀行業務も確實親切に御取扱申候

比較は最良の撰擇法なり

サクラ正宗 サクラ正宗
京城明治町一丁目 山邑京城支店 電話四八九番 振替京城五七番

内科 小兒科 京城本町二丁目（瓦斯會社向側） 芙蓉醫院 醫學士 森定吉 電話二六二三番

拜啓小生義今般東京醫科大學附屬醫院を辭し爾今左記に住居致候間此段謹告仕候也
三月一日 本町二丁目 醫學士 森定吉
鄕友諸君

農業世界 三月號 農事關係者の必讀すべき記事と有益なる參考資料例の如く滿載 定價廿錢 郵税二錢 東京本郷 博文館

大日本優等清酒 ハクツル

品質純良 衛生無害
釀造元 攝津灘御影町 嘉納合名會社
發賣元 京城本町二丁目廿番地 前田酒店 電話 [illegible]

板硝子直輸入商 釜山本町一丁目 上 村上商店 ●相場表御一報次第贈呈仕候 電話 [illegible]

内科小兒科 入院隨意（普通病室並に隔離病室） 京城旭町一丁目（鈴木醫院跡） 小林醫院 醫學士 小林千壽 電話六九二番

越後大評定

第百五十一席　早川貞水口演

大野次郎兵衛の白狀

丑満にカアー／＼と暁を告げる鳥の聲、ゴーン／＼と鳴る明の鐘、早出の豆腐屋の買出し、八百屋の買出し人、魚屋の買出しがガヤ／＼通り掛ると、大野次郎兵衛の繩尻を取つて虚無僧が、水戸様の御門前に控へ、御門の開くのを待つて居る容子で御坐いますから、[illegible]何者だらう、縛られてるのは[illegible]内、イヤ然う[illegible]乙[illegible]あの[illegible]を縛つて待つて居[illegible]御門に控へて御當家の罪人を引捕へたから、水戸様へ訴へ出たんだらう」等と噂して行く、○「同役、夜が明けましたナ、大層好い天氣だ、今日は三月十六日、花見なども定めて向島は賑やかだらう、一度花見がしたいものだが、奉公の身の上では、身儘に遊ぶことも出來ぬ」△「左様で御坐る、アヽ是は大變寝過した」○「サア／＼起きなさい」と言ひながら起き出た一人の門番、門を開き、ヒヨイト見ると、虚無僧が一人の侍をグル／＼捲きにして立つて居るから、番「是は何者ぢや」彌「恐れながら私は越後頸城郡高田の城主、松平越後守の家來、當時浪人關根彌次郎と申す者、此人は唯今越後守江戸勝手金奉行を勤め居ります、大野次郎兵衛と申す者、御願ひの筋が御坐いまして、御門前に控へ居りまして、御重役様へ御取次の程、願ひ上げます」番「それは貴様心得違ひだ、御當家は將軍御後見にして、副將軍に在らせられ、左様な訴へを御聽きになる方ではない、町方は町方、武家は武家、孰れもそれ／＼支配があるに依り、相當の役向へ願ひ出るが宜しからう、此方では取次ぐ譯には參らぬ」彌「[illegible]は御尤もでは御座いませうが、[illegible]御親類の御間柄[illegible]事件に付き、[illegible]入ります故、何卒御重役衆へ御取次を願ひます」と強いて申すに依り、他家の事なれば追返して了ふのであるが、越後家とは御親類の間柄、さう云ふ譯には行かぬ、怒ひの事して失策つては詰らぬと思ふから、兎も角重役へ取次がんと、二重橋を渡つて往かうとすると、向ふから若黨、草履取、供の者二三人を召連れ、中老瀧口三郎兵衛が參りましたから、少しく脇に退つて控へて居りますと、二重橋を渡り掛けた三郎兵衛「コレ／＼重助、何か見れば周章しく橋を渡らんとして、予が參つたる故、控へたる容子、何事か急の用にてもあるのか」重「へエ、今朝御門前へ、虚無僧體の者、一人の侍を縛り來り、何事か御願ひの筋これあるに依り、御重役方へ取次を頼むと、斯様に申しますから、願ひの筋とあらば其役向きへ罷り出るやう申し聞けましたるに、越後守の家來、關根彌次郎と申す者にて其縛せられたる侍は、大野次郎兵衛と申します故、外ならぬ越後家の御家來、一應伺ひましてと存じ、只今まかり出ます所で御座います」三「左様なれば予が自身に參つて取調べるに依り、其者等を門内に入れ置け、決して怪しき者ではない」と云ふのは、關根彌次郎名前は、瀧口も聞いて知つて居りますから、何事か好き譯の上りしことゝ存じ、斯様に[illegible]御座います

お聞きなさい

△[illegible]歐洲戰亂で最も甘い汁を吸つて居るは米國で諸國から受けた兵器品の註文總額四十億圓に及びデユポント火藥會社の如きは六億圓千萬圓からせしめて居る同社の株は戰前約二百五十圓内外であつたが今日は千五百圓に騰つて居る何レミントン武器會社も約六億圓の儲けだと云はれ十年前に小さき機械販賣人であつた者が一億二千萬圓の分限者になつた實例など澤山ある

△賭博をする實業家　高松市内の紳士間には賭博が流行し一局の賭博に數百圓を賭し勝負を爭ふので其筋で内偵し廿八日關係者として有名の元代議士、東讃電鐵、農工銀行重役たる大堺長平[illegible]を拘引し嚴重取調中

△有罪判決で急死　偽造約手十數萬圓の犯人段矢貝太郎外數名より刑事に運動するとて多額の金を詐取せる西川末吉、淺井吉太郎兩人は廿八日大阪區裁判所で判決あり末吉は十箇月、吉太郎は二年の懲役に處せられたるが吉太郎は其刑に吃驚して警官詰所で卒倒し其儘死亡した

△心中した爺さん婆さん　大阪市南區鰻谷町紺商高津萬之助(五七)妻のぶ(四二)兩人は伊豆國伊東温泉松原旅館に二月中頃より滯在中の處、萬之助は幼少より樂しき日とてなく子もなく病氣にて先の見込もないから」と遺書し一日朝モルヒネを服して心中を遂げた

三月八日九星　舊二月五日甲辰　本命二黒坤除赤口

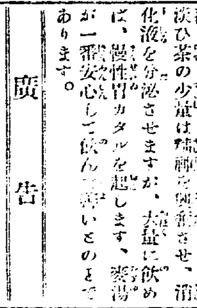
▲二黒　物の不安を意味する日新事見合東方は吉[illegible]▲三碧　不運の日なれども新事控目の方吉諸事掛値をなせば吉▲四緑　何となく不味の事有日新事手控商事は吉一切の賭事せぬがよし▲五黄　運で不利となる事有日[illegible]手際事すれば工は妨なし▲六白　うるはしき日旅行入學名弘金付來職婚禮質金貸借皆吉▲七赤　安樂の日轉居行商出漁名弘求職金作細用傾を求むる等吉▲八白　色情の日物用心の日新事控務事婚禮は妨なし▲九紫　大願届く日轉居旅行入學名弘婚禮求職今作試驗を受る等皆吉▲一白　擧かれ[illegible]の事有日新事手控商事は吉買物に用心せらるべし

私の胃病(わたしのいびやう)

一口に胃病と申しても、種々ありますが普通人間の一食は、健康な胃を有つた人で五時間乃至七時間かゝれば其が消化して胃が空虚になり胃を洗つても何も出て來ないが、若し此胃より數時間後れて胃を洗つて見ると、猶ほ先きに食べた物の殘りが[illegible]

[illegible]て來れば胃擴張となるのです其他諸て詐けば色々の重症になりますからハテ胃が惡いなと合點されたら時にはソレ直ぐに五大重寶の合評製藥評判の胃活を服用して胃病に限るよふです、石黒男爵の合評製劑といふだけで、程研究したものと見える、他の藥を種々を用ゐて見たが皆胃活へ戻つて來る、分量は少し少ない様だが効目があつて後に害を殘さず、而して消化と消毒の二つの効用を持つて居るのが特色で、單純なる消化藥では無い、夏の頃に若し胃病の兆候があれば一時も早く治して置かぬと營養が衰へ、身體が衰弱して、種々の餘病を引起す原因となるのである湯川博士の説に飲料の中等の温度のものは、胃を温める効あり、食慾を催しますが熱すぎ又冷へ過ぎたものは胃液の分泌を妨げて害になります、淡ひ茶の少量は消化を補足させ、化液を分泌させますが、大量に飲めば、慢性胃カタルを起します、湯が一番安心して飲んで善いのであります。

廣告



胃病良藥　胃活(いかつ)

胃病に胃活、泣く兒に乳　用心深き胃弱家は飲んで後に害を殘さぬ胃活を家庭に備へて常用し玉へ善は急げ直ぐ御用あれ

定價　胃活　一圓[illegible]

發賣　全國及海外要所の各藥店にあり

本舗　東京日本橋本銀町　山田安民藥房　大阪南久寶寺町

腸膜炎を病む方に

●水がたまつて若い人　●水がたまらなく永らく病む人は

ロクマクエンにて腹の中に液がたまり、呼吸をする時[illegible]

博士御專賣の

毛生へ藥(けはえぐすり)

田中醫學博士方劑

前東京帝國大學醫科大學皮膚科教授田中醫學博士が多年研究の結果進歩せる現代に適應した新製劑

ミフテイン　禿頭病、ぬけ毛、ふけ、腫物

髪の生へ際、其他毛の[illegible]きに用ひて皮膚に害なく、脱毛を止めます、婦人に毛を生やし、一般に非常なる歡迎を受けて居ります、直接ハガキで御申込になると精しい説明書を進呈す

東京芝愛宕町二の一　東京藥院　電話芝一八七四番

質

京城黄金町三丁目(永樂町交番所北入)　堀佐營業所(電話六二九番)

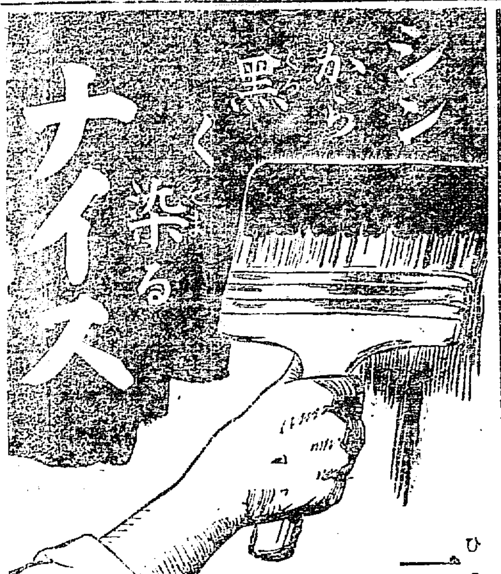
セロツタ鏡をどうら色白くなるゲンソ液

小瓶二十錢　徳用四十錢

今東京で大評判の白美の元素色黒き顔赤き顔日ヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに根本的色白く眞の美人美男子となる

東京和泉橋際ゲンソ液本舖　松本藥店

全國の藥店小間物化粧品店に販賣す近所に品切の時は代金丈の郵便切手を送れば送品す



シンから黒く染まるナイス

一刷毛(ひとはけ)でシンからホントに黒々(くろぐろ)

自然(しぜん)の色艶(いろつや)に染(そ)まるゑらが染(ぞめ)

登録商標　白毛赤毛染　ナイス

五大特長

■タツタ二十分で染り、■洗て剝ず永持し、■艶々と黒く染り、■襟、枕、につかず、■用法至極手輕、

定價　男子用三十錢　小瓶四十錢　大瓶七十錢

發賣　大阪、東京　丹平商會

全國海外の藥店化粧品店にあり

最上醬油　ほまれ味噌

特許　機械製

絕對的品質本位

鮮滿釀造界唯一の名譽

於朝鮮始政五年物産共進會　金牌受領

釀造元　仁川港　日本醬油株式會社　電話七一五一番　振替京城一七四番

京城出張所　電話二四五番　振替京城五二三番

朝鮮産業指針

監修　蛾生十郎

編者　大橋清三郎

同　川端源太郎

同　三輪信一

朝鮮總督寺内正毅閣下題字　政務總監山縣伊三郎閣下題字　農商工部長官石塚英藏閣下序文　勸業模範場長農學博士本田幸介閣下序文

總クロース　四六倍版　九寸一六　千五百頁　金文字押模様入　定價金五圓　[illegible]

[illegible]其他の生産物たる農産と水産と其の[illegible]を問はず、各人勤勞の結果にして之によりて稗益する所尠なからずと雖も吾人の更らに知らんと欲する所のものは該生産物が如何なる方法如何の勞作及經營によりて提供せられたるかに在り、然るに不幸にして多數の觀覽者は概ね生産品のみを見て事業成績書を通し或は[illegible]の資財を擲ちて成りたるものなるを知るに由なかりしは、余儕の最も遺憾とする所なりき、今者開發社諸子が本書を編纂し美を抜き粹を萃め朝鮮産業の發達及改良に資せんとするは、蓋し近來の快擧と云ふべく、(本書の眞價を發揮せられたるもの謹で茲に錄し敢て自薦せず)要之本書は朝鮮の産業は如何の情態にある乎の質問に對する最も適實切當なる答案として見るを得べく、政治家事業家技術家其他如何なる階級を問はず一日も座右に缺くべからざる寶鑑にして復た指針たるを疑はず、我社が新に本書を提供するを得たるは最も光榮とし滿足する所也(開發社發行)

發賣元　京城日報社代理部　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番

朝鮮郵船

全羅丸　三月廿三日　京畿丸　三月十三日　黄海丸　三月七日　咸鏡丸　三月　日　釜山發

會城丸　三月十四日　昌平丸　三月十二日　鏡城丸　三月八日　元山發

忠淸丸　三月八日　平壤丸　三月二十日　元山發

永興丸　毎月廿八回　元山發

盛京丸　三月七日　釜山發

江陵丸　義陽丸　月　日　(元山發)

三浦丸　三月　日　釜山發

海州丸　統營丸　巨濟丸　慶尚丸　毎日　釜山發

順天丸　三日目毎　木浦發

慶興丸　三月九日　木浦發

公州丸　三月十二日　木浦發

公州丸　三月　日　木浦發

全州丸　三月八日　仁川發

江原丸　三月七日　仁川發

能水丸　普州丸　三月八日　三月十三日　仁川發

錦江丸　南陽丸　毎日午前　仁川發

平安丸　三月十四日　三月八日　群山發　若松發

本社　京城南大門通　京城取次店　松原運送店

共同汽船仁川出帆

共同丸　芝罘、大連行　月　日後二時入港　月　日前九時出帆

第一阪鶴丸　城津、清津、浦鹽行(元山出帆)　月　日後九時出港

第三　西湖津沿岸各港を經て雄基行　月　日前八時出帆

阿波國共同汽船株式會社　本町一丁目(電話一〇八番)

仁川代理店　山下回漕部　元山代理店　田口回漕部　京城取次店　河村運送店

滿蒙處分論

定價金一圓　京城日報代理部　振替京城三〇〇

汽車

京釜線　京元線　湖南線　京義線　[illegible]

京城日報

第三版

蘇士の危險緩む

陸軍某將校談

亞細亞土耳其に於ける露土兩軍の爭奪戰は歐洲本舞臺の戰鬪に比すれば其兵力に於て其規模に於て全く話にならぬが而も其勝敗の影響する所は歐洲本舞臺に於ける一局部の勝敗の比でない一昨年冬露土の開戰するや獨逸は土耳其をして直に

△アルメニヤ地方 に進軍せしめ一個軍團は黒海の沿岸なるトレビゾンドに第九第十第十三の三個軍團はアルメニアの首都エルゼルムを中心として高加索の國境に進め更にその後バグダット駐屯の一個師團をさへ割いて全力をこの方面に傾注せしめたのであつた露軍は初め機先を制せられた形であり歐洲本舞臺に於ける全力を注ぎたるが爲め土軍の攻擊に對し守勢の位置に立たざるべからず大體に於て全く景氣の好くない形勢で遂に其領域なるサリカミッシ及びアルダハンの二要地を敵手に渡した程であつた昨年夏

△ニコライ太公 の中央より轉じて此方面の總指揮に當る事となるや露軍は著しく形勢を盛返し從來の守勢は攻勢となり昨年冬サリカミッシ及アルダハンを奪還し國境を越えて深くアルメニアに侵入し連戰連勝の好報を齎して居たエルゼルムは土耳其東方の最重要なる要塞である土軍は此堅城を擁して露軍に對抗したが勝に乘じた露軍は嚴寒積雪を冒し進軍攻擊を强行して遂に去る二月十七日を以て之を陷落したエルゼルムは從來幾度か東方人の間に爭奪戰を繰返され近年にありては露土戰爭に際し二回迄も露軍の手に占められし歷史を有し

△近東の戰局に取 りては容易ならぬ重要の地點にある從つて露軍のこの地を占領する事は延いてアルメニアに於ける戰局の大勢を左右するものにして土軍は全くアルメニア地方を撤退して第二防禦線に依りてこれを防ぐの已むを得ざるに至るのである即ち最近の歐洲電報はケルマシヤ占領イスピルの陷落より重ねて土軍のトレビソント撤退を報じ來りバン湖よりエルゼルム、トレビソントにかけたる一帶の地は全く露軍の手に歸する事となつたのである

蘇士運河防備の爲英軍はエイルマー將軍引率の下にメソポタミヤに進出しチグリス河右岸にありて

△土軍形勢甚だ振 はず本年に入りては全く土軍の包圍する所となりて後續部隊の到着を一日千秋の思ひにて待ちつゝある有樣であつたが露軍のエルゼルム占領は延いて英軍を死地より脱せしむる事となり最近の電報は英軍のハンナ攻擊の頗る好結果であつた事を報じて來たのである露軍のこの勝利は獨逸戰略上ばかりでなく政治上に於ても非常に重大な意義を有するものとなる即ち久しく土耳其の版圖を脱して同宗教なる露國の治下に入らんと焦慮しつゝある所謂アルメニア人問題もこれによつて

△解決の日に近く なると同時に波斯の獨墺加擔運動を挫折せしめ蘇士運河の安全を期し所謂獨逸東漸の勢を阻止する事となるのである

雲貴革命と南京

デーリーニユース紙所載

今や南京は頗る平穩なれども之は唯表面上の事にして裏面に於ては一般に袁總統の帝政計畫に不平を抱き雲南の叛軍に同情を寄せつゝあり北京政府は南京に於て强き點を有すれど同時に弱點をも併有せり、其强き點とは何かと云へば官憲が絕對に軍隊を支配し居る事なり、即ち南京駐屯の兵士及び警官は悉く北方人にして問題は馮國璋及び部下の將校連が袁總統に忠誠なるや否やに在り、今日迄の處にて馮將軍の行動は北京の召命に應せざりし事を除き袁總統に忠誠を摧きんでつゝあり、即ち過去數週の間に謀叛の嫌疑ある兵士を處刑し、又は日本郵便局を通じて送られたりと稱せらるゝ排袁派の新聞紙頒布に關係ある者を逮捕せる如き其例證なり、現に排袁派の新聞紙を配達せる郵便脚夫は牢獄に投せられ南京にて發行する共和主義の新聞紙は其發行を禁ぜられたり、去り乍ら世間の風評に依れば馮將軍は袁總統の帝政計畫に同情なく窃に形勢を觀望しつゝありと云ふ、一般の人心も亦帝政反對の風潮盛なるは確かに北京政府に取りて大なる弱點なり、過般モリソン氏が南下して袁總統の爲めに實狀を調査せる際にも同氏は人民が堅く帝政に反對しつゝあることを復命したりと云ふ、政府の權力は人と時との一部を支配し得べきも强いて權力を以て總ての人民を永久的に支配することは不可能なり、北京政府の弱點は實に茲に存するものと謂ふべし。

北鮮の山水 (3)

東拓理事 村田俊彦

二、春川路

北鮮と云へば普通咸鏡南北道を指すも、從來之を北鮮と稱せずして、平安南北道亦朝鮮の北部に位すれど鮮と呼ぶは人の知るところの如し。今北鮮のことを語るに付いては、咸鏡南道より始むるを以て至當とすれども、便宜其前に於て春川並に京元線沿道の狀態に付き少しく述ぶるところあらんと欲す。

辭職峠の險

春川に赴くには、孰れの方面よりするも、もと馬に騎するか、又は步行せざるべからざりしが、今は京城より自動車を通ずるに至れり。約五時間餘にして達す。路傍の風景美にして四時ドライヴするに適す。韓國時代にありては、道路險惡、殊に將に春川に入らんとする所に於て辭職峠と稱せらるゝ峻坂ありしが、今日は山を迂回せる坦道成り、よく此の峠を古蹟として眺めつゝ、晏然自動車により來往することを得るに至りたり是れ誠にわが德政の賜なりと云はざるを得ず。辭職峠と云へるは、其坂路の峻峭、人をして攀ぢ上らしめ上る者の口地に接し、恰も地を食ふの有樣ならしめしより、地食峠の名起り、後官吏の春川に赴任するもの、此峠に到り其嶮峻に驚ろき、寧ろ職を辭するも峠を越えざらむことを希ひし程なりしを以て、遂に地食を辭職と字音相通の辭職峠の字を用ふるに至りたるものなりと謂ふ。其眞僞は知らざれども、兎も角も此俗傳を生ずるほど嶮峻なる所なり。辭職峠は元來其山名を席破嶺と稱す。春川勸務の官吏の更迭する者、此の嶺上に於て割席分座せるより此名ありと云ふ。

詩趣橫溢

京春街道は即ち淸凉里東九陵の街道にして、春川に赴くには此等を左に見て進むものなり。街道中の古驛加平は京畿道と江原道との境にある田舍町にして、之より春川に至る間風景殊に佳なり。道は山に沿ひ河と相並ぶ。河は則ち北漢江の上流なり。峰巒水を挾んで屛障を列し、所々巖縛て飛泉を懸く。石土を戴く所は疎松雜枝蓊鬱し、土石を漏らす所は蝕苔蘚蒼鬱たり。水流淸うして、或は急に、或は緩く、或は礙せられて白練を布き、或は潭を爲して鴨緑綃碧の色甚だ深し。水中の石虎の蹲るあり。春筝の立つあり。瀑を爲すあり。滴る如き新綠燒くが如き紅葉、此地に於て最も佳なり。盛夏亦玆に暑を避くるに適す黄鳥聞かまほしき所あり、杜鵑聞かまほしき所あり、麋鹿聞かまほしき所あり。水鷄聞かまほしき所あり。然れども語を寄す杜鵑月を帶びて江畔の樹に啼く勿れ假令今辭職峠を越ゆる無しとするも春川の遊子之を聽くに忍びず、職を辭して歸ることをや思はん。春川に近うして渡口あり。之れを過ぎ暫くにして邑内に達す。

春川邑

春川邑は儀鳳山の麓にあり。形鳳の翼を張る如し。山後土地開けて一帶の廣汎たり。此地は灌漑の便無く、爲に皆畑地にして米を産せず。從て之を京城等に仰ぎ米價割合に高かりしが、近來此處に水利事業を起すものあり、漸く水田を見るに至らんとしつゝあり、漫りに米を億て水利を小區域の所不適當の地に起さんとするは不可なりと雖も、此地の如きは其要を得たるものならむ。春川地方は、古の貊の國にして、今日なほ邑内より里餘の丘陵の傍に其遺跡を殘すと云ふ。古代の酋族の割據せる所は大概其揆を一にす。即ち四方山を以て圍まれたる相當の幅員を有する平野にして、丘陵蜿蜒し、河川其下を流るゝ地たり。貊都亦其例に洩れず。

北京より

▽軍事內閣組織說 五日來電 北京政

大總統は現在の時勢に處するには政治の改良にのみ偏重すべからず須く武裝するに非ざれば國家を存在せしめ能はずとて政治に注意するの外軍政の改良にも一大努力を要すとし各要人を研究中の所此程一部人士間に軍事內閣を組織して段祺瑞氏を總理に補し以て一は內亂を平定し一は全國の軍政を整頓すべしとの主張を爲す者あり袁總統は現在熟慮中の由なるも之れが實行さるや否やは疑問なりと

▽毒瓦斯使用贊否 北京政

府側にては南軍の爲め不利を招きつゝあるに業を煮し歐洲戰を眞似して例の毒瓦斯を使用せん事を建議せる者ありて贊否兩派に分れ反對派は南軍は現有敵軍なれども同じく同胞を毒瓦斯にて殺すは人道上面白からずと云ひ尙ほ決定せずとの說あり

▽鹽稅增徵と實施 政府が

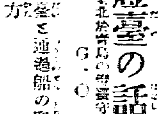
財政補塡の爲全國に亘りて鹽稅增徵を行ふべく鹽務署に調査立案を命せし事は既報せし所なるが其後多くの反對說ありしに拘はらず他にこれ以上の好財源なきを以て愈々實行するに決し該章程は既に袁總統の認可を得目下財政部と五國團委員との間に商議中なれば近く實施の運びに至るべしと云ふ增稅率は地方に依りて異なり一斤に付二文乃至四文にして政府の見積に據れば約一千萬元の增收あるべしと

▽蒙古探鑛隊組織 北京政

府は利權の外溢を豫防する目的より蒙古探鑛隊の組織計畫中にて蒙藏院に命じ蒙古王公の探鑛隊の作業を幇助すべき規定を作らしめ奉天省に對しては吏員を任命して探鑛隊に參加すべき事を照會し來れり

燈臺の話 (14)

全北於青島の燈臺守 G・O生



㈣燈臺と通過船の取扱ひ方

燈臺は今までに述べ來つた通り通過船の仕事は燈臺の外にずい分あつて、通過船の取扱までもやらねばならぬのである。今迄我が國の燈臺に於ては冬季國の燈臺の如く、沿海通過の船舶に對しは一定の信號に依り、通過報及び信號往復を取扱つて居た燈臺は一もなかつたが、尤も郵船會社からの頼みに依りて、特に其會社の汽船に限り、通過報を取扱ふ燈臺はある、現に下關の關門大吹岬燈臺の如きは其の一つである、又其の他燈臺の近傍に於ける難破船等の如き場合に於いては成るべく便宜を與へる事になつて居るだけで、其の數顆の設備が何れの燈臺にもない、之れは實に遺憾であると思ふ。

朝鮮の燈臺にも此の設備は未だ無いのであつて、能く內地の本などには、燈臺守が難破船を救うた話が多くかゝれて居る、西洋の燈臺などには稀には設備があるらしい、又た相當の設備のあるのもあるが、燈臺の性質から云うても當然の話であると思ふ、然し一方から云ふと經費問題であるから、致し方のない事であらう、救難の事は之れを從として、明治四十年十月一日より遞信省の告示によりて、大吹岬の燈臺の外二三箇所の燈臺は、爾後一定の規則の下に通過報を取扱ふ事になつたのである。釜山港の入口にある絶影島燈臺では昨年より通過報を取扱ふことになつて居る

南阿弗利加の東岸より

坂出鳴海

土地調査局高等官食堂諸彥足下

一筆呈上候、後れ馳せ乍ら大正五年の初春を諸彥の上に祝し、諸彥の御健康と幸福を遙に祈り上候、小生十一、十二の兩月は印度にて暮し、年末三十日錫蘭を船出して、元日は丁度印度洋の赤道を其午後二時半通過致候、亞弗利加廻り英國へ行く途に候、喜望峰も五六日後に見るを得可しと存候、明日ナタールに寄港錫蘭を出でて十三日目の陸地を樂しみ居候、國よく參り倫敦は二月十日着と存候

（五六日前より夜半南極に近き南極星を見る）

一月十日コロンボより南へ／＼と航行中

洋上の新年五句

甲板に皆集まれよ初日出

元日の午後赤道を過りけり

蓬萊や盃擧ぐる船の上

初日出東を拜す海の上

輪飾をケビンに吊す出入口

回別信回

（前略）元日は丁度印度洋上の赤道直下に初日出を拜み九日マダガスカル島を右舷に見て南へ／＼と航行中に御座候、ケープ、タウンに寄港するは一月十六日かと存候

雲の峰南に喜望峰近し

大西洋を北上し倫敦へ着くは二月十一日頃かと存候

一月十二日南阿弗利加の東岸にて

京日詩壇

○洗劍亭對雪　高井 梧堂

滿天横地雪花新。極目玲瓏不著塵。洗劍亭頭寒凜烈。輸想義士鐵精神。

評曰 詩亦錚然有聲。

○同 上　圓山 牧雲

一溪寒有盤。城北雪初收。劍氣閃亭外。珠光迸石頭。絕無姦賊影。說到義人謀。

評曰 前半叙景奇絕可誦。

○同 上　永井 鳥石

好是風流可醉歌。買寒曳杖北山阿。皚然洗劍亭前雪。一掃黃埃映綠蓑。

評曰 淨潔之景畫亦不及。

○同 上　一番瀨 聖山

風起賊營搖曉林。猶懷磨劍掃妖祲。恩讐今日渾無跡。惟有亭前白雪深。

評曰 精錬。

日報歌壇

京城 藤村 幻花

□母を偲べば

裏切れば裏切るほどに母の愛このひとり兒に遣瀬なかりき。

死を思ふ心にいつも影をさす母を悲しきものに數ふる。

只管に我れの歸へりを待ち佗ぶる老いたる母を思ひかなしむ。

杖もなく路上を步む脚なへの危き姿に似たる心か。

夕まぐれ落兒を思ひかなしみつ暗き廚に働くか母。

旅にゐて更にも遠き旅思ふ我とも知らで待てる母かな。

死を思ふ暗き心の片側に來ては坐れる母の姿かな。

七日朝刊（夕刊と合せて十二頁）

本紙定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金六拾五錢

廣告料

發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 谷口政太郎
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

大阪期米特電（六日）

本日の現物界

六日の正月限

廣江煙草 景品付賣出

實用的景品附大賣出し

「空籤壹本もなし」

賣出區域 京城、仁川兩市に限る

賣出煙草

▲しらぎ 一ボールに付 景品券 二枚
▲百圓 一ボールに付 景品券 一枚
▲八島煙 一ボールに付 景品券 一枚
▲(刻煙草)春雨 四十匁入二袋毎に 景品券 一枚
▲(刻煙草)浦島 四十匁入二袋毎に 景品券 一枚

賣出期間 自三月五日至四月五日壹ケ月間

景品種目

□一等 白米五斗入一俵宛 十本
□二等 上等精油一斗入一樽宛 三十本
□三等 しらぎ煙一ボール宛 五十本
□四等 上等鏡一個宛 一百本
□五等 百圓五包宛 四百本
□六等 上等石鹼一個宛 二萬本

一本の空籤なし

▲抽籤期日 四月十二日
▲抽籤場所 京城商業會議所
▲景品引換期限 自四月十七日至四月二十七日
▲景品引換場所
京城南大門通三丁目（電話二五二二番） 廣江商會京城總販賣所
仁川京町二丁目（電話六五一番） 玉植商店

御注意

今回の賣出相數は極少數にて其賣出區域は京仁兩市中に限られてありますから賣切れぬ間に御仕入相成度所在仲次店に於て景品券なきときは廣江特約店に直接御注文被下度候尙御買求の節は必ず景品券御受取被下度候

廣江商會總販賣所

此好機會を逸する勿れ

「景品は德用品のみ」

◎ドーモン村落爭奪戰

佛軍尙ほ最後の勝利を確信す

巴里に於て發表されたる半官的の報道に據れば敵はヴエルダン方面以外に於て守勢を採らんとするもの、如く二日夜より三日に涉り戰鬪再開せられ殊にドーモン方面に於て最も激烈なりドーモン村落は獨軍爭奪の的となりつゝあれ共同村落の戰鬪は大戰鬪中の一小戰に過ぎずして一時的の勝敗は止むを得ざるに屬し佛軍が其の最後の勝利を獲得すべきの確信を動かすが如きことは未だ發生し居らず(倫敦電報)

◎新たなる敵の猛擊を擊退す

巴里來電に據れば獨軍が新たにホードシモンの森林よりドーモン要塞に進する戰線に於て行ひたる猛烈なる攻擊は擊退せられたりと(紐育電報)

◎四川省の運命を賭す地

叙州回復は豫定せし所=實際の價値あるものは納谿方面の勝利

叙州回復に就き繼續府側の消息に據れば同地の回復は南軍の虛を衝き徒に進みたるものなれば四川省の運命を賭する實際の價値あるものは瀘州納谿方面の勝利如何にありとて何ほ決して安堵すべきに非ざる意を洩せり(北京特電)

◎蒙匪カルカ襲擊計畫

蒙匪の巨魁巴布札布の部下七千名は一擧黑龍江省西半部の略奪を侵さんと計畫しつゝあり(奉天特電)

◎曹師團長山砲を要求す

最近第三師團長曹錕より山砲十門彈藥五百箱及び運搬夫五十名を送れと要求し來りたれば砲、彈藥は漢陽兵器廠に發送を命じたり(北京特電)

◎支那政府の水道借款

漢口水道工事に投じたる邦人の投資額を買收する爲め=

北京よりの報道に據ればサミユル商會は今回チナネタ―ド銀行を通じて支那政府に對し二十一萬三千兩を貸付たるが右金額の用途は支那政府をして漢口水道工事に對する日本人の投資額を買收償却せしむるにあり支那政府は之に對し右水道工事を擔保となす事を承諾したりサミユル商會より支那政府に對する貸付金額は漢口市改築公債總額英貨二百萬磅の一部にして同公債は歐洲戰爭後二箇年を經過して支拂ふ筈にして漢口水道工事は同公債に對する擔保たるべきものたりと(上海電報)

◎叙州回復確實

北軍が叙州を回復したるは確實なりと(北京電報)

◎武富藏相參內

武富藏相は六日午前宮中に參內し聖上陛下に拜謁仰せ付けられ帝國議會に於て協賛を經たる大正五年度豫算其他に關し伏奏する所ありたり(東京電報)

◎內債發行條件

佛貨公債償還の爲め大藏省は內債を起す可く其の條件は利率四分五厘手取九十六圓十年据置とし來る三月二十日頃發行すべしと(東京電報)

◎巡洋艦新建造

海軍省に於ては來る四月一日巡洋艦二隻の建造令を發す可く該巡洋艦は三千五百噸型速力三十節にして大正七年度に於て之が進水を行ふ豫定なりと(東京電報)

◎掠奪怪船獨逸著港

獨逸側の報道に據れば一時世人を驚かしたる掠奪怪船メーウエ號は太西洋上に在ること數箇月の後漸く獨逸某港に著せり同船には捕虜とせる英國將校同名李百九十五名の外に金貨五萬磅を積み居れり同船の擊沈したる汽船は英國汽船十三隻外一隻なり猶獨逸側の言ふ處に據れば右メーウエ號は水雷を發射して英國戰鬪艦キングエドワード七世を擊沈したりと(倫敦電報)

◎成金の黑奴

歐洲戰亂の餘慶

殊で例の亞弗利加の內地の奧深く棲息してゐる蠻族の各部落にも此頃今迄でないと云ふ珍な大成金が澤山に大袈裟に買占をやつた結果亞弗利加の內地(は各國の金貨が雨のやうに降る騷いたのは獵人連で始めは何の暴騰に搗て、加へて出來たのは珍な大小成金英吉利金貨を一杯腰にねて例の身飾りや頸飾りにピカツかみでなく商各部落から米國商人への註文も下らあるが何さま亞弗利加の蠻族連が馬を買つて自動車でキ

◎墨國公使更迭

目下歸朝中なる墨國特命全權公使安達峰一郎氏は臨時外務省勤務となり其後任として大使館參事官船越光之丞男任命せらるゝ事に決定し一兩日中に發表さるゝ筈なり(東京特電)

◎臺灣に運轉試驗

陸軍自動車隊

陸軍自動車隊は近日臺灣に於て運轉試驗を施行すべく目下企畫中也と(東京電報)

◎滿洲の工業熱

日本內地に於ける工業熱の勃興と共に滿洲においても昨年來次第に工業熱を高め來り現に滿鐵中央試驗所の研究の結果に成れる硬化油製造工業の起るありて頗る好況を呈したるが常に滿洲の發達に留意しつゝある滿鐵にては更に甜菜糖業の素地を作るべく從來試みられる甜菜栽培を今後續行すると共に製糖事業の爲め工場建設及び其の經營上の研究をも行ふことに決し猶ほ黃燐、パルプの製造も滿鐵中央試驗所の再三の研究にて今回有望と決定し滿洲の富豪石本鏆太氏の後援を得て撫順に其の製造工場を起さんと計畫中のものあり高粱は大豆に次げる滿洲の特產物にして之を奉天省のみに就いて見るも其の耕作反別二百二十萬晌に上り一晌より穫るゝ其の高粱稈を假に八個千斤とせば之より一億九千六百萬斤度のパルプを製造し得る譯なれば經營方法だに宜しきを得ば是亦僅かに滿洲における有望なる工業の一となるべし其他同じく撫順炭坑地におけるモンド瓦斯應用の窒素肥料會社の如きも既に滿鐵において之が興業資本を年度豫算に計上したる程なれば其の遠からず工業の起るを見るも近き將來なるべく其他アカシアを原料とせる小工業等も起らんとし一般に何となく活氣を帶び來れり(大連)

◎大連 堆貨と油房業

大連埠頭の堆貨は其後も頻りに增加し二月末三十二萬噸といふ新記錄を作り猶ほ逐次堆積の一方なり當に大連埠頭のみならず奧地にも殘滯貨物多く開原、長春等に於ける混合保管のもの以外農家又は商人の手に殘れる貨物も鮮少ならず堆貨の斯く如く巨額に達せるは船腹の缺乏と豆粕輸出の不況に陷りたる結果に外ならず埠頭堆貨の大部分は言ふ迄もなく大豆にして既に十六萬噸以上に達し從來の歐洲輸出の外更に內地及び支那方面への輸出商談成立せしも船腹不足の爲め商談も行惱みとなれる有樣たり豆粕輸出の不況は內地の需要思はしからざるに價格下落し船腹不足に伴ひ運賃騰貴し且つ銀塊の高値を呼べる爲め輸出不引合の結果を生じたるに大連の各油房は目下その產出額を三割乃至六七割に控へつゝあれど輸出不況のため豆粕の滯貨甚だしく各油房業者の損害云ふ計りなく止むを得ず油房業者の中には脂肪酸又は硬化油等の製造を兼副業として營まんと計畫せる向あり內地に於ける豆粕の需要減退せるは青島に於ける油房業が政府保護のもとに頗る盛大を呈し來り同港より直接日本に輸出せらるゝが其の一因たれば自然之に對する商策の必要あるべく南支動亂の爲め同方面における需要の減退も豆粕輸出不振の一因と認められつゝあり(大連)

◎清津港(三)

一、港灣の整理

清津港は北鮮に於ける貿易港として元山に亞ぐものなれども、明島及び琿春等の國境地方、或は支那大陸、露領沿海州の如き、無限の物資生產地にして且つ又重要地を控へ居る點は、淸津を以て尤なるものとなさず、之れ港灣の設備不完全なるにも拘らず、長足の進步を來したる毛因なるべし。淸津港內の水深は陸地を去る二町內外の處に於て十尋以上を算するのみならず、潮汐干滿の差僅かに二尺に過ぎず、日露役の際北韓上陸軍の揚陸に當り、六千餘噸の大船舶を初め以下三十六隻の船舶を列べて碇泊し、些の支障なかりしを見るも、大船巨舶の繫留に適したる水深を有するを窺知するを得べし、只惜らくは港內は前面開放し居れる爲め、海上より通觀し得らるゝのみならず、西南の風强き時は、荷役に困難を來すの不便あり、然れども小形汽船及び艀船等の繫泊には、港內約一萬二千坪を仕切りたる東西防波堤を築き、幸じて小形汽船二隻を容るゝの施設を爲したり、如斯なるを以て一面陸上に於ける淸會鐵道の全通を見、國境及び奧地との交通連絡の要求急を告ぐるに至らば、到底現在の淸津港は不完全たるを免れず勢ひ一大淸津港の修築を叫ばるゝに至るは當然の運命なり、港民の希望は將來の淸津港をして、大連或は敦賀等の良港灣に比肩せんと云はんよりは、より以上理想的たる東洋第一の貿易港たらしめんと云へる大抱負を抱き居れり、吾人は寧ろ淸會線或は吉會線の開通と同時に、港內の設備を急ぶるの必要あらざるべきかを思はずんばあらず、然れども之れ一片の理想論にして實行には幾多の障害あるべし、されど鐵道の開通しつゝある現狀のまゝにて…

◎寒天北滿輸出

全羅南道長城寒天製造所の製品をハルビンに移出すべき計畫ある由既報せしが愈々六日第一回として十九箱の輸出を爲すべしと尙ほ同製造所は來る二十日頃迄全部の製出を終り本月末迄には今期の作業を閉鎖すべき豫定なりと(木浦)

◎露領出漁者減

露領沿海州漁區競賣入札は七日浦鹽に於て執行さるべく聞く所に依れば鱒漁業に關する共同航及び中拔網の使用は許可(袋網の使用は目下露國政府に交渉中也)されたるも船腹借上料の暴騰に顧みたる結果にや例年に比し渡航者減少せるものゝ如しと

◎地方新設商議

平壤は認可近し

新設商業會議所令に準ふ地方會議所設立に關しては既報の如くなるが、大邱平壤の分は既に總督府商工課に於て調査を遂げ各關係部局を經て寺內總督の手許まで廻付しあれば認可指令を見るも近日中に在る可く而して既報の外新に認可申請ありたるは去る二日總督府に提出し來りし群山商業會議所にて目下同商工課に於ては其定款に就き詮議の步武を進めつゝあり何れの商業會議所も其新設を目的とする地方は認可申請期日本月中なるを以て此際之れが申請を急がざる可らずと

◎平安南道漁況

平安南道方面にては…より一月に涉り氣候の順調著しく例年に比し頗る溫暖なりし結果延繩漁業者は出漁準備を終り去る二月上旬より降雪ありしも前途の溫暖を見越して漁獵出航したるも俄に氣溫の低下と共に天候不穩を極めし爲めに從漁意の如くならざりしを以て近海諸島の各島嶼に假泊し其間漁上の僥倖を見計ひ時々從漁して漸く去る二十三日初めて一隻の漁船入津を見るに至りしと雖も昨今の漁況は客年漁期に比し約四割五分の高價を唱へつゝあり例年三月下旬開始の漁業は約四十餘日を早めたるを以て本年の同地方は今後少からず好良なる影響を及ぼす事となるべしと

◎京城電燈狀況

前月末に於ける京城電氣電燈部の成績を聞くに總燈數五萬六千四百四十三燭(十燭單位)にて右の中今期擴張に屬するものは四千四十六燈に上り今猶日々二百燈以上の申込者あり故に猶未著手に屬するもの二千燈の多きに上り引續き好況を呈せり之れが爲め最初の計畫にては六月末を以て一萬燈の擴張を遂行の豫定なりしも更に期日を短縮し或は五月末日頃には一萬燈に達すべき傾向にありと

◎警察操典の編纂 目下警務總監部にては警察操典を編纂中なるが近く脫稿の上は實施さるべし

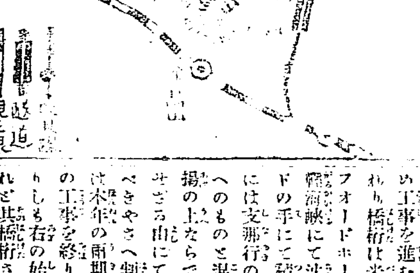
人事消息

▲[illegible] ▲[illegible]ィッブ氏(英國商人) ▲ホテルへ ▲マーデン氏(米國商人) 同上 ▲ミス、スチーアド氏(英國人) 同上

◎京釜線改良工事現況

若木金泉間の迂迴線略竣工 鐵道局 伊藤三郞氏談

京釜線改良工事は朝鮮鐵道中の第一主要鐵路として殊に重要視せられ愼重に工事進行中なるが既に着々進行中の箇所も鮮からず先づ永同を中心として南北二工區に分ち以南(永同芙江間)は金泉技師、以北(沃川永同間)は永井技師監督し居れるが大體に於て勾配五十分一を百分一に曲線半徑十五鎖を二十鎖と共に緩徐ならしむるにあり其區間を全線中最も急施を要する箇所を早くし然らざるものを後廻しにせしにて大田芙江間を早くしたるは湖南線との連絡關係上より金泉が居昌、尙州等附近の米穀生產地の中心となり居れる關係によりてなり然して本工事は南北より簡易なるものを早くし次第に双方より工事を進め行きて最後に難工事の殘されたる次第なり今其工事の現狀に就き語らんに



▲大田芙江間 改良の主要工事は勿論右の如く五十分一勾配と曲線半徑十五鎖を二十鎖勾配、曲線半徑二十鎖に緩徐せしむるものにして既に工事を終了したるより從來使用せし混合列車への補助汽罐車を二月十九日以降廢止し單汽罐車を以て運轉中なり

▲若木金泉間 本區間は京釜線改良工事中の最大難工事に屬し他の箇所の殆ど全部が從來の線路に沿ひて改良工事を施され居れるに本區間の改良工事は全然別に路を驅るものにして從來の延長十六哩のものが二十二哩餘に延長し大呷餘の…一の急勾配を…に緩和するものにして…の西麓を五十分一の勾配を以て降せしものを其東麓を大迂廻して…の個所より東に折れ從來の金烏山驛を廢止し新に二百尺餘の小隧道を穿ち大新驛…にて從來の本線に合する迄の延長を經て大新驛に至り隧道を經て龜里驛より大新驛に至る間の鐵條を敷設し尙大新より金泉の南方にて從來の本線に合する迄の約四哩に近き鐵條敷設工事進行中なるが四月末頃迄には竣工の豫定なり更に同區間の鐵橋工事が橋桁未著の爲め工事を進むる能はず其儘となり居れり橋桁は米國より廻航の英船ラッフォードホールが昨年十一月中旬津輕海峽にて沈沒したる爲め目下ロイドの手にて積荷引揚中なるが積荷中には支那行のものと鐵道院、滿鐵等へのものと混淆し居れるより全部引揚の上ならでは鐵道局行のもの判明せざる由にて此分ならば何時到着すべきやさへ判明せず最初の豫定にては本年の雨期(五六月)以前には全部の工事を終り線路切替へを爲す筈なりしも右の始末にて竣工期も未定なれど其橋桁さへ到着し其取付を終れば直に營業開始を爲し得る樣建設運轉に支障なき範圍內に於て假橋工事を施せり更に若木新同間の改良工事も目下工事中に屬し新同大邱間は目下調査中なり尙大田金泉間は改良工事順次着手中なるが右の外に於ても大邱の北方省峴隧道が六十分一芙江附近に八十分一の急勾配草梁附近に二十鎖以上の急曲線あり之等に就ては何れ最近に於て議會の承認を經て着手せらるゝに至るべく此改良工事竣工後に於ける京釜線の平坦は從來に比し雲壤の大差あり其牽引力に於ての增大も思半ばに過ぐるものあるべしと

秀次氏より道…官宛玄米及び大豆檢査證印に關する意見書を提出したるが其の大要は大正四年五月十八日慶…る上に於て頗る適當と認むるも何分字劃多き爲め粗雜なる嫌ひあり捺するに判明を缺く而已ならず改良種の大小粒及び在來種を區別しあるにも拘らず優等米は同型同色の證印を用ゆることゝて之が判別方…而かも遠路移出の爲め色素褪消の患あり黑色を用ゆる方得策なる理由に依り速かに詮議相煩はし度き旨評議員會の決議に依り右意味に於て…

本日朝刊 附錄共八頁

會長 大木伯 贊助員□一木內相□高田文相□柳澤伯爵□三宅博士 及講師□尾崎法相□箕浦遞相□後藤男爵□福田博士

記者養成 新聞講義錄

立身出世の最近道□今入會すれば僅か三ケ月後誰でも記者に成れる□目下五大特點あり此絕好機會を逸する勿れ

見本會則無代進呈 東京牛込區矢來町十一番地 大日本新聞學會

▲最も常識的なる―

進化論の最新名著譯出さる

進化原論

コロンビヤ大學敎授ドクトル クランプトン氏著 理學博士ドクトル谷津直秀 理學士大地原誠玄 共譯

菊判上製三百八十頁挿畫四十●定價壹圓五拾錢(郵稅八錢臺灣樺太朝鮮十四錢)

人間の求知心は宇宙及生物構造に關する問題に對し常に解答を求めて止まぬ。進化論は此渴望を滿すべき唯一の學說で、只に生物界のみならず人生觀の基礎を確立し、倫理、敎育、宗敎、文學、藝術、政治、軍事、其他社會萬般の問題に解決を與ふる指針となるものである。本書は此高上で趣味の深い進化論を最も常識的に最も簡明に巧妙に敍說し專門の知識のない人でも容易に原理を了解し得るやうに出來て居る。譯者は斯界のオーソリチーで、文章は流暢であるから一讀して進化論の要領を會得し、無限の興味と深妙の知識とに接し得る事を保證するのである。

東京神田 富山房 振替五〇一

生徒募集 東京齒科醫學專門學校

試驗四月一日二日 願書三月末日限り 詳細ハ一月十五日官報ニアリ(東京神田三崎町) 規則要郵券

朝鮮總督府法定消毒劑 無害無毒 アイゼル 猩紅熱其他傳染病豫防新藥 宣壽堂 井上藥品部 鍾路 電話八〇一一五七

日韓書房 新版報告

鹽谷榮 そゞろあるき 定價一圓 郵稅十錢
南條文雄 信念の發揮 定價一圓 郵八
佐々政一撰 新敍事文講話
河南休男 龜川雅吉 藥草の栽培と其研究
吉田絃二郎 生の悲劇

京城本町二丁目 電話二二五 振替京城四一二

銀行會社員 官吏鐵道員 養成 講義錄

卒業者は各自希望通り東京は勿論全國何處にも就職 速成四ヶ月卒業會費貳圓八拾錢 校則進呈 東京芝公園 大日本國民通信學校

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

京城 朝鮮銀行

振替貯金口座 京城三三三番 電話(局)三三一、三三二、六一一、一二一 (局)一一〇六、一二六〇、一二六一

支店出張所 東京、大阪、平壤、仁川、元山、大邱、釜山 鎮南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧 新義州、安東縣、奉天、大連、長春

右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

……は諸方に大成金、小成金を出したさうだが面白いのは同じく此戰争のお蔭にある馬、驢馬、駱駝を手當り次第……一族の方にも思惑が出來忽ち馬の相場が百……此の程慶北幹移出物改良組合長……「慶北」の如き其の意味を表示す……の記印を用ゆる……

京城中學校入學試驗成績發表

そら、出た！出た！

待遠しさに思案に餘つた小胸

□京城中學入學試驗成績發表の刹那□

今年京城中學校に願書を出した五百十七名の入學志願者から百五十名の入學を許可すると云へば殘りの三百六十七名は不結果となる譯で、勢ひ其處に試驗の競爭を見る樣になる。今年に始めたことでないから兎に角毎年

◆中學校の入學試驗

は兒童に取つて命懸の仕事であり、家庭に取つても亦其兒の行末にかゝる重大問題として可成頭を痛められて居る。六年の間小學校で教養した教師も無論却々心配する。其入學試驗の結果が六日の午後三時半發表された入學試驗は一日から三日間で濟むと中學校では

◆其々の受持教師が

晝夜兼行の姿で成績考査を始め此間に三日間の日子を要した、中學校から受驗者に配布してある受驗者心得書には成績の發表は六日の午後三時とし其間に電話等にての問合せは一切すべからずとあつても一日が千日にも當る樣な氣持がして彼方此方から千二百十番の中學校の電話番號を呼ぶもの相つぎ

◆發表を待ち兼ねて

居たものだから六日は午後の二時半頃から三々五々相連れて中學校に押かけて來る者が多かつた、其内三時頃ともなると雨天體操場の西方一杯に和裝の小學生が集まると去年入學した兄貴樣の中學生が來て賑々しく戯れて居る成績の發表を今かくと鶴の樣に首を伸ばして校長室の方を眺めて居る者

◆刻々に迫る發表を

不安らしい顏して板塀にもたれた者、子の腕を父母や祖父母に連れられて來て居るのもあるが何れも同じ小さな胸に心臟の鼓動が劇しかつたに違ひない、やがて三時三十七分ともなると校長室の扉が開かれて美濃紙を棒巻にした成績發表の用紙を持つた一人の教師が出ると、それとはなしに樣子如何にと窺つて居た

◆受驗者の一二三の者

が『そら出たぞ』と一齊に集る者の中に傳へると皆んなが一齊に出た！出た！と叫んで揭示場を取卷く所は丁度大寺の西の會陽の樣な光景で神木を争ふ使丁の者が梯子に昇つて太い卷紙に成績を書いた用紙を擴げかゝると今迄騷いで居た六七百名の者は俄かに靜まつて只だ小聲で囁きがチラくと降る

◆成績を書いた用紙

は寸、尺、尺と忽ちにして全部擴げ終つたが、自分の姓名を逸早く見出して喜ぶ者、一通り見通しても見當らず間違ではないかと再び見ても遂に無く色を失つて歸り行く者と只だ一片の紙上に表れた成績でこれ程悲喜相別るゝかと思へば恐ろしい樣にも思ふ、中には六十の坂を越した尺もある白髮の

◆老翁が孫の手を引

いて來て居たが入學出來たと判つて眼鏡を外して眼を拭ふ程に嬉し涙を流して居た及第者は一番の村田昇三それから成田鎮太郎、成田不二生、横井師郎、田中俊と順次成績順一百五十名を入學せしむることゝなつた採點の結果を聞くに一番より五番位あまでは

◆平均點數九十四

から九十二點位迄最後の者と雖も平均七十五點はある上から二百五十人位迄は平均七十二三迄の得點であるからして若し學校に收容力がありさへすれば尚ほ五六十人位迄の所は入學せしめられるがそれが出來ないのは氣毒であると云つて居つたそれにしても早く入學希望者を悉く收容出來るやうにしたいものだ

滿洲航空隊一行所澤歸著

滿洲耐寒飛行を終りたる陸軍航空隊の梅谷大尉川上中澤兩中尉以下一行は去月二十八日哈爾賓丸にて大連を發し本月四日無事門司着陸路東上五日夜所澤に歸著したるが一行は何れも壯健にて意氣揚然たり（東京特電）

□無暗に唾を吐いてはいけません

幼き朝鮮の紳士淑女の思想の變化

手を洗ふ習慣＝庚子幼稚園側面觀＝（一）

春とは名ばかり北漢山颪が時々粉雪を誘うて來る月曜日の午後朝鮮の公達ばかり集まつて居る京城幼稚園を訪うた、門の入口には十臺に餘る腕車や五六輛の綺麗な乳母車やそれから幾人ものお供の下人等が相撲を取つたり炭火を圍みながら手の甲を擦き合つたりしながら

若樣のお退出を待つて居る女子高等普通學校の西澤先生が案内で京口嬢に紹介して呉れた、恰度今お晝飯が濟んだ處でオルガンの譜に連れ園兒は一列に歩調を取つて室内運動場へ這入つて來る所で有つた生徒は四十人ばかり何れも貴顯紳士の子供ばかりで

櫻色に血色の好い所謂若樣顏をして居る大きな輪が作られる優しい合唱がオルガンの音を埋めて初まる

南の方にちらくと眞珠のやうな梅がさくと内地の幼稚園と些つとも異つた所は無い向ふの山のお猿さんの歌も出れば足柄山の金太郎の遊戲も始まる李堈公殿下の

公達や昌德宮王妃殿下の御妹に當る尹侯爵の令孃たちもホーホケキヨツの獨唱をする却々元氣よく飛び廻る大變に可愛らしい。室内體操場のすぐ隣りが附添人室で男や女の付添人の幾人も々々が是れも門内のお供の群れと同じ樣に非常に雜踏して公達のお退りを待ちあぐんで居る子供の方では時間の移るも何にも有つたものではない無我夢中に

嬉しがつて遊んで居る殊に殿下の公達は二人居られるが小さな方の方が非常に活潑で附添ひに來て居る當女官の老婦人の帽子を被たりして戯れて居るお供が川瀬の裘毛の外套と防寒帽子を持つてお迎ひに這入つて來るとまだお邸に歸へるのは嫌だくと逃げ廻る、大きな子供が七八人集まつて

繪本を廣げて見て居る初めは殆ど繪本などを見ると云ふ趣味は有つて居らなかつたさうであるが近頃は大變に丁寧に繪を眺めてこれは桃太郎だの之れは猿でこれは兎など話し合うて居る、一方では室の隅に取散らした積木を奇麗に片附けて居る近頃は大變物を整理する習慣が付いたさうである、其の先の廊下の方では丁寧に手を

洗つて居る。これも最初は何處でも唾を吐き放題大小便は仕放題であつたのが近頃内地人の子供と少しも異らぬ樣になつた、朝鮮の家庭には何處の家でも子供の爲めに玩具を備へて置く樣な處は極めて稀れであるから初めての子供は大變お玩具の

犬や猫を怖がつたりするが慣れると矢張り子供には種々の玩具が何より親しいものと見えて玩具戸棚の前には押し合ひながら集つて居る此の習慣から引いて初めは動物を愛すると云ふ樣な觀念は少しも無かつたものだが近頃はお晝の副食を殘して雀や犬にやつて呉れだのと可愛い金雀に優しい事をたべさせて下さいたゞとお退りの時間が來ると一々先生に御挨拶をする左樣なら左樣ならと中にはオ早うと間違つた子供もあつた

言葉はお互ひ同志の話しには朝鮮語をつかつて居るが先生に對するお客へはみんな國語である一番間違ひ易い言葉は『クとコ』の來るをコルスイ』『ツとス』のお月樣をオスキ樣『シを『イ』と發音して石をイスイ『ハとア』の春をアル『ナとマ』の

皆をミンマと發音する之れは一般の朝鮮人の發音癖であるが幼稚園では入園と同時に矯正するから此の誤音が悉く除かれて居るそれで唱歌なども至つてよく聽き取れる

親子で無い

京城内資洞百六十九番地朴寅壽（三五）は京城積善洞六十四番地の鄭氏李昌文を相手取り親子關係不存在確認の請求訴訟を京城地方法院に提起した其の事實の要旨とては寅壽は亡朴晉昌の長男にして同人が十二歳の時晉父は病沒したるより實母の權姓女は生活難の爲め已むを得ず前記李昌文に再縁して爾來二十年間同居し居れる間明治四十三年五月頃權姓女も病死したり然るに民籍法施行の際誤記せられて朴寅壽は李昌文の子息の如く記帳し姓に權姓を李姓に誤記せられあるを以て右の訂正をなすと共に李昌文と親子にあらざる旨を確認せしむる爲め訴訟を提起したるものなりしと判決の結果同法院に於て原告の請求通り勝訴に歸したり

後釜の二百圓

開城南山町二百七十八番地の李允植は同地北本町生れの鄭南李運心を相手取り金二百圓の貸金請求訴訟を開城支廳に提起したり原告の陳述する要旨によれば被告李運心は元同町の蠟細崔洛方にて稼業中大正三年中金崔鎭たるものが運心を落籍するに當り抱主崔洛に對する前後策の爲め自分の後釜に一名の女を物色する費用なりと稱し大正三年十月二十一日金二百圓（利子月三分）返濟期限大正四年十月十四日として貸與したるも今日迄支拂はざる爲め右の訴訟に及びたりといふにあるが審理の結果被告李運心は何等資產もなく無能力者なる女子を相手の貸借は有効ならずとのことに原告の敗訴となりたるより原告は京城覆審法院に控訴したり

掻浚ひ十五回

忠南大田郡……生れの井藤秀次（二一）が前後九回に渉り京城本町三丁目中村某方外八箇所にて九臺の自轉車（約五百圓）を窃取したる爲め京城地方法院にて秀次は懲役一年七郎は同六箇月……の判決となりたるを七郎は不服として京城覆審法院に控訴中……となりたり

京城府生れの卞貞順（一三）一定の住所もなく昨年十二月頃より京城各町を掻浚ひして至る所に於て掻つ浚ひをなしたるものなるが本年二月末迄に前後十五回に渉り京城の内鮮人宅より品數十點（價百十七圓餘）を窃取し之を雁珠洞の飲食店金德伊（二一）に與へ或は質屋に入質して酒色に消費したる爲め遂に高陽署の手に檢擧され取調べの上檢事局に送られたり

朝鮮短歌會第二回合評

日時　四月三日午後一時より

會場　[illegible]

投稿　[illegible]

互選　[illegible]

會費　[illegible]

出詠　[illegible]

勳八等の連累

大分縣宇佐郡佐田村生れ當時京城義州通一丁目岡島方同居大工河野七郎（三）は在郷軍人にて勳八等旭日章及び韓國勳章佩用者なるが昨年十一月十五日以降本年一月五日迄に共犯者なる東京市京橋區新富町二丁目當時京城府元町

醫生牛を盜む

咸南北青郡良家面中里醫生李尚禎（三）は一月七日夕刻老德面南里の金甫丑方に繋ぎある姜某の牛一頭を窃取したるより北青支廳にて懲役二箇月の處分となりたるを京城覆審法院に控訴したるに前判決を取消し笞六十に判決

京城にてホテル總會

日本ホテル協會にては三月十一日東京帝國ホテルにて第七回春季總會を開會せしが第八回秋季總會は京城にて開會の事に決定したり

若い時分

暖になりましたら學校の入學式も卒業式も近づいて來ました。その新らしく學校を出で、新らしく學校に入る、少年少女諸君、及び社交たる諸君が如何なる方なのため見出た名士の昔の若い時分の話を伺つて見ました。

□糀と澤庵漬

曹洞宗大本山京城別院　高田穎哉老師

四十人前の炊事　山へ薪を手折に

納が若い時分は相摸の國の關本にある最乘寺で修業した、今でもあの時のことをおもふと

◆懷かしうてならぬ

と知つての通り最乘寺は一門四千寺と云はれた曹洞宗の巨刹で、境内には周圍五尺から一丈餘りもある杉の老樹が立ち繁り非常な幽邃な寺である、納がこの寺の專門支校に入學した時は彼の畔上楳仙禪師が本山に移つて

◆原坦山和尚が住職

となつた時分で、學校と申しても未だ上級にならねば先生が教へて呉れぬといふのでやつた、學問は上級のお方にやつて頂いたもので、當時は預科に一級から七級まであつて本科に六級まであつた、或時は納が教へて呉れと頼むと、お前さんはまだ四級の小僧だから自分で讀むで見ろと叱られた始末、其處で下級の者は何れも

◆互に自修し合つた

ものである、併し三四人集まれば試驗は何時でもやつて呉れるので中には一年間に三四級進む者もあつた、然しその學科は今の人達よりも十づゝ程度が高く納などは十一歳の年には既に孝數の式題全部をあげたものである。併し

◆學問の修業位ゐは

高の知れたものゝやつたが納等の毎日働いた掃除や炊事はなかくひどいものであつた、掃除は曹洞流の配役と云うて各自割當てられた役目を傍目もふらず遣らねばならず、毎日未明に起きてから朝の八時頃迄には七十三役の掃除から便所の清潔法から居たものである、又炊事も仲間の

◆全部出來あがつて

四十人前の飯を炊くのは小供としてはなかく骨の折れる役ぢやつたが、それよりも山に入つて薪取りするのが困難ぢやつた、なぜと云へば薪取りには鋸もなければ斧も無く全く兩手で枯枝を折つて來いと云ふ上、把が小いと再び追ひ還されるからである

◆食事は又毎日朝夕

お粥に澤庵漬、晝餐が飯に味噌汁ばかりであつたが、其の後納が方々に行つて見てもあの位ゐの粗食は先づ世間に無いやうに思ふ、併しそれでも醫者の厄介などになるやうな者は四十人の中で一人も無かつた皆んな無病で息災ぢやつた、それに門徒から澤庵一本やらうと云うても四五里の道をのこく貰ひに出かけたものでそれを

◆肩にひつ擔で歸る

のぢやから殆んど風態などに構つちやあ居られなかつた、洒落た風などして見ても澤庵擔ぐ處を見付けられては追付かぬから言葉なども上品な事は禁物ぢやつた、今では書生が永い引ずるやうな着物きて歩くがあんな事では修業は能きまいと思はれるなう。

購買　龍山陸軍倉庫
詳細ハ七日以降朝鮮官報ニアリ

物品拂下
第一號　古外輪及車輪　參點
第二號　古金物類　龍山倉庫所在品
第三號　古車輪　壹點　同上
右來ル參月貳拾八日競爭入札ニ依リ賣却ス詳細ハ參月四日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ルヘシ
大正五年參月六日
朝鮮總督府鐵道局

男女用指環進呈
金側代用時計特價販賣
本品は時計製造の本場たる瑞西國製新發明の化學金を應用し一見金側と同様の形容を有す……
八十錢　三圓
日野時計店

強いか　弱いか　壹回御試用を乞ふ
一二圓八十錢　編上深ゴム
二三圓四十錢　上製（耐久底皮付）
三三圓七十錢
日野靴問屋

りん病
多年の慢性にも効力著しき良藥あり只一劑を試みよ此の藥は他の藥店になし同病者は切手三錢封入申込あれ其良藥と自宅療法の詳細を敎ゆ
名古屋市南かじや町　武藤龜吉

あざ　そばかす　ほくろ
今スグとほせ
東京市下谷區柏木百二十番地
東京博愛藥院

京日案内
普通（一回前金……）
▲書生至急入用　年齡廿歲前後の者希望者履歷書携帶本人來談あれ　京城壽町（浦尾旅舘横）辰巳齒科醫院　572
◉乳母至急入用　身體强健なるもの本人來談あれ　仁川仲町　丑榮社（電話七五番）　571
▲古本買受▼　▲御報即時參上▲地方即時送金▼　京城本町電話二一五二七　ウツボヤ書店　560
◉勿見落　定價の三分一で新刊雜誌お其月に讀る廻讀會　松井松榮堂　京城本町一の四九電話一三七八
◉貸地　南大門通り漢湖農工銀行裏三十坪餘望の御方は◉黄金町一丁目喜多金光堂（電話一〇一三）　333
▲ほねつぎ　うちみくじき治療　明治町フランス教會正門前　荒川仁壽堂
▲看護婦及見習生募集　希望者は履歷書携帶午前中本人來談あれ　京城壽町　山田醫院　577
山葉オルガン　鈴木ヴアイオリン　直輸入　京城本町二　勢山樂器店　電話一五八四　578
◉齒科醫雇入れたし詳細面談（姓名在社）　579
番外（一回前金六十錢無割引　匿名一週毎に金五錢增）
好職　利益多大美術ゴム事業老幼男女誰でも出來本業又は副業に適す志望者は來店又は郵券十錢送れ案内書及製品見本急送呈す　京城太平通二大漢門前太陽ゴム商會　574
外勤社員招聘　無經驗の有志希望者は自筆履歷書携帶來談　京城黄金町二丁目　共保生命保險京城出張所　570
恩給　年金恩給低利長期立換短期不及便法あり其他擔保信用貸仕候　京城南大門外御成町　山口屋　539
恩給　年金退隱料長期立替多少を不問即時融通今回地方代理店增設す希望者照會あれ但恩給年金所有者に限る　京城永樂町一　商品陳列舘前　江州屋本店　540
◉ほねつぎ　うちみくじき等　一切の治療御依頼に應ず　明治町　柔術道場　541
◉ほねつぎ　うちみくじき治療　電話二千五百九十五番　明治町交番より東へ　フランス教會前　仁壽堂　548
結核の注射液　古賀　京城南山町二丁目（入院隨意）　松岡醫院　電話六七五番　549
質商　▲移轉廣告（元伊佐）營業は秘密を旨とし御客樣の便利を計り候　櫻井町一丁目大正舘北横丁　東屋　382
花柳病專門藥　▲詳細は御照會次第迅速回答す　▲京城永樂町二丁目交番北　東京ドラツグ商會滿鮮本部　559
勸業債券高價買入　但五圓券四圓五十錢以上拾圓券九圓以上の大勉強　▲京城太平通二丁目　三六商業銀行債券部　電話二八三一　568
恩給　年金恩給低利長期立替短期無保險地方在住者不拘上京不用便法有　短期は特に無手數料取扱申候　京城若草町停留場前の込つき當り　西村商會　電話二三六三番　576
内科　兒科　專門　胃腸　呼吸器病（入院隨意）　京城本町二丁目元中島病院跡　山田醫院　電話二八八〇番　574

千生瓢 (146)

須藤南翠作　筒井年峰畫

凱旋 (十一)

一旦斯うと言ひ出しては、所詮遂げずに濟ます盛政ではない。今は上意を伺ふまでもなく、何事も玄蕃允が意に任せて、望みのまゝに取り計らはうと、稻勘八は撿臨して緊縛せしむる事とした。

都にも知らぬ者なき、日本一の佐久間玄蕃允が、都大路を渡さるゝ事である。知るも知らぬも皆外に出て見物するに、車は花やかなる装飾に輝き、人は紅の腹卷、金箔の大紋に、淡紺の太打かけて緘縛られたまゝ、世の名殘、都の名殘、八方に目を光らせ、大路小路を看巡り〳〵曳き廻さるゝ態、いかさま目前に迫る死をも懼れず、萬夫不當の雄將と見えたので、往來の人も歩を留めて、『實に生身の軍神や、殺すは惜きもの』なるはと、歎惜せぬ人迚も無つた。斯くして一條より九條まで引き廻され、其のまゝ車を槇の島に移して元の座敷に閉ぢ籠めたのであつたが筑前守が嚴命として、望みに任せて都大路は渡したれど、貴ては人に恥見せな。我は必ず刑場に引き出すこと勿れ。夜陰密かに首を刎ねよとある旨を聽し、日のあるうちは仕置の沙汰もなかつたのである。

日落ちて星明かになつて、人魂の飛ぶ如き、猶大暗き卯月の夜となつた。稻勘八は庭前に蓆敷しかせて、こゝに玄蕃允盛政を引き出し、短刀を扇に上せて、勘八手づから之れを進め。

『是れにて御腹召させ候へ』と申し通じた。

盛政はむろりと視て、徐ろに首ふり、

『前方も申した通り、腹を切るは世の常の事ぢやざる。是まで自害を止つたは、囚人の常法に從ひ、劍手の刄にかゝつて、素首刎られう爲めおざつた。唯打首にかけられい』と、泰然自若としてゐる。

『去りながら、武士道を重んじ、必ずお腹召さるべしと、筑前守の固く申し付けおざりますれば——』と、稻勘八が詞を返すに、

『やあ、勘八とやら能く聞け、尋常に腹を切らん程ならば、今日都大路を渡されうや。縛繩の身をば車にて曳き廻されうや。玄蕃允が覺期のある所、其方武士ならば、疾く推察すべも筈ぢや。此上は後手に嚴しく縛て、只の死罪を識るやうに、疾く疾く斬れや、稻勘八!』と、高聲に叱咤した。

『左まで仰せらるれば、今は力及はず、縄うてや者共』

勘八も遂に命を下した。玄蕃允は後手に縛められて、欣然として蓆に押直り、心靜かに首さし伸べて、

『是にて好きぞ、いざ討て』と聲をかけ、斬手がやとかけたる聲諸ともに、首刎られて瞑死した。時に年三十、或は云ふ二十九、又二十八、若くは二十七に作る。察するに三十を以て正しとするであらう。辭世あり、曰く

世の中を巡りも果ぬ小車の火宅の門を出るなりけり

次に柴田權六勝久を引き出したが、是れは故修理亮勝家の公達ではあつて、總ての應對禮を盡さず、勘八が進むる短刀を取つて、只切腹の法を行つたまゝ、首さし伸べて刃を受けたのであつた。享年十七と傳へられる。

同時にまた秀吉の肩を輕からしめたのは、神戸侍從信孝の死であつた。信孝が岐阜を開いたのは、一つには兄北畠權中將信雄の勸誘に應じたのであつたが、内海の大御堂に籠居して後も、快々として樂むことなく只感慨に日を送るばかりであつた。然るに兄信雄より自害を勸誘さるゝのみならず、家臣桑田彦右衞門より秀吉の討手向ふよし風聞隱れなし、名もなき雜兵の手に落ち給ふは御無念なるべしと説くこと切なるより、さらばとて意を決し、五月七日搭頭安養院に於て二十六年の生涯を縮められたのであつた。

されば、今まで聲息の聞えなかつた德川右少將家康も、石川伯耆守數正を使者として、五月廿一日に來つて戰勝を賀せしめた。

■金郊近況　不老郎

除後の芳宙子京城より來り山莊を訪ふ。會談三夜。句も作る

鴨か鳴いて水田明りす淡雪に　芳宙
麥の猛き芽を刷くや淡雪の風　同
稻荷山に春雪少しづゝの驛　同
淡雪に灯點せる温麵家のみ　同
干し物に一と時の薄日春の雪　不老郎
裏木戸開け放ち春の雪掃く　同
淡雪や果樹の梨黒にも芽ぐらみ　同
淡雪や温突の窓硝子磨く　同
炭長ふ積んである事務所春の雪　同

芳宙を迎へて二句

寫眞師庭へ呼び入れ春日菅き　同
鼓甲立つ温突の甍　同

□霞

霞む小橋柳堤の奥連翹に　青牛
柳追へば黒烟逸す霞かな
御拜群れ殿宇軟障霞むかな

佛軍奮く防戰す

ヴェルダン霞めるに人華りす
浪沿ふる岩も霞みて明らなる　虎耳

黃海流域にて

嘔吐く船と見ろ汽車夕霞

商況

大阪三品

後場當限寄付十三圓二十六錢止め三十錢△中限寄付十三圓四十七錢止め五十一錢△先限寄付十三圓六十八錢止め七十錢

▲後場の手振り

▲(甲)能く賣る

お化粧の仕方

化粧傳授圖解 其一 貴婦人令孃之巻

美人となる化粧法

新式既明の水化粧法圖解はクラブ本店の案出創作にかゝるものなり

① クラブ洗粉でよく生地を洗ふ事
② クラブ美身ゼリーかクラブ美身クリームを顔さ襟へすり込む事
⑥ 次に白粉の上をぬれタオルでこすらぬやう輕くおさえる事
⑦ クラブ頰紅 クラブ頰紅を兩頰と目の邊りに少しつける事 尚ほ耳朶にも少しつけるさお化粧が生々として見えます
⑧ クラブ粉白粉 クラブ粉白粉を粉刷毛に少しつけて輕く納の方を叩きお化粧直しをする事

クラブ洗粉　クラブ美身ゼリー　クラブ美の素白粉　クラブ頰紅　クラブ粉白粉

美しいお化粧の仕方と順序

貴婦人令孃實驗

先づ第一に

クラブ洗粉 を掌に取り洗粉と同じ分量の微温湯で溶き、額から顎へかけて擦り、後でよく摩擦して洗ひ落し、タオルで水氣を取り、後で襟から顔にかけて

クラブ美身ゼリー を少し引き、平に均し十分に擦込めばお顔の生地は柔かに滑かになり、お化粧の下地が完全になります。若しアレ性の方ならゼリーを引く前に

クラブ美身クリーム を薄く引いて、よく〳〵擦り込み、セーム皮か濕タオルで拭き取り。又脂肪質の方なら

クラブ化粧水 か クラブ美顔水 を引いて均してから、ゼリーを引いて擦り込むのが一番であります。斯してから不思議に生地の色迄白くする

クラブ美の素白粉 か クラブ白粉 か

又は クラブ水白粉 を掌に取り襟から耳の後ろ、咽喉から顎にかけては濃い目に附け、お顔の方は目の周圍から兩の頰の上だけを殘して、全部を襟よりも少し薄い目に附け、水氣の乾き切らぬうちに、牡丹刷毛で刷き延し、次にそれを水刷毛で前に殘して置いた目の周圍から頰の上へ引き伸し、全體の白粉を均し、落ち付けた上を濕タオルで輕く押へ(決してタオルで擦つてはいけません)目の下から頰へかけて

クラブ頰紅 で薄くはいた後で

クラブ粉白粉 を含ませた粉刷毛の納の方を輕く叩き、それで顔から襟へかけてよく〳〵刷き均して置けば、美しいお化粧が出來上ります。又常に

クラブ美艶 と クラブ香油 さを用意して居られますと、化粧崩れがしたり、汚れたりした時お用ひになれば元の儘のお化粧の美しさにかへります。

美粧倶樂部應用

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛凸版
最も熱練せる技術を以て最も迅速と可成廉價を旨とし御注文に應じます
京城日報社 寫眞製版部

數ある中でもM印は特に撰ばれて甚遠に御買上の光榮を得たる最優良品と御記憶を願ひます
三田土ゴム製造合名會社製造
發賣元 飯田商店

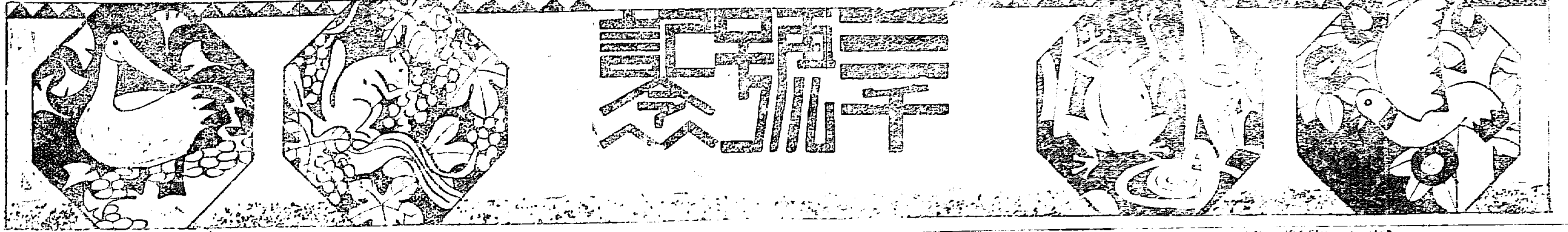
金泉間 自動車著發時間表
金泉 織居自動車支部 (金泉電話八番)

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行 神丸 三月廿一日後五時出帆
○元山清津浦潮行 神丸 三月九日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行 小倉丸 三月七日後五時出帆
○元山、城津、浦潮行 小倉丸 三月十六日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 三月十日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 三月十九日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 大貞丸 毎月二日九日十六日廿三日廿一日廿六日 午後十時出帆
大池回漕部

尼崎汽船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
秀吉丸 三月 日 後四時出帆
大有丸 月 日 後四時出帆
神代丸 月 日 後四時出帆
蛟龍丸 月 日 後四時出帆
君が代丸 月 日 後四時出帆
仁川海岸通二丁目 電話五十九番 杉岡回漕部

大阪商船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行 宮島丸 三月九日 午後五時
吉辰丸 三月七日
天智丸 三月十二日 午後出帆
○木浦、釜山、長崎行
安東丸 三月九日 午後二時出帆
城津丸 三月十八日
○鎭南浦、大連行
安東丸 三月七日 午後二時出帆
城津丸 三月十三日
鎭州丸 三月十七日 正午出帆
○大連直行
潮州丸 三月十九日 正午出帆
福州丸 三月十日
○群山、釜山、横濱行
潮州丸 三月廿五日 午後四時出帆
福州丸 三月十六日
○清津、元山行(元山出帆)
須磨丸 三月六日
北智丸 三月十七日 午後二時出帆
大智丸 三月廿二日
○上海、芝罘、天津行(大連出帆)
安平丸 三月十六日 午後四時出帆
新高丸 三月廿四日
仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二〇〇
京城切符發賣所 内國通運

三月限 三萬八千五十石
四月限 一萬千六百石



懸賞歌謠發表

第一回＝佳作七十篇

○支那の話をば著のみで來たが今は地所もち家屋もち。 西大門官舍 江畔漁民

○私の女房は朝鮮女下女は滿洲の支那人。 京城 澄月 靜子

○桃をくよ〳〵居野の末も、住めば都の花も咲く。 同 武山 君代

○雪のかヒマラヤ越えよかウラル此處は思案の北滿洲。 元山 菅井 周人

○朝鮮睨しめ虎ふす山に大和撫子育てます。 京城 長道 紅鳳

○思案を定めてからは今ぢや嬉れしいこのホーム。 京城 李 生

○大和撫子ゆかしいかほり束ねゆるがぬ花の束。 平壤 好 風

○渡る天地の月夜をかすめ破るプロペラ響く。 奉天 稻築 正人

○二十年昔はアンペラ小屋住ゐ今ぢや煉瓦造り飛行機飛ぶ。 同 人

○明德の燈はいよ〳〵榮え穗に穗が實る新館士。 仁川 山本 昭和

○虎のうそぶく深山の奧も國の爲なら何のその。 馬山 瀨川 正男

○縁可愛いや擔負うて山へ新の正月知らぬやら。 唐州里 花 園

○玄海渡りや鷄林八道今ぢや滿洲おつい隣り。 群山 山城 錦川

○海にや海幸山には小松鷄の林も御代の春。 永同 山田 浪

○汽車の窓から見る山々も笑ひ顏して茂り行く。 平壤 默 居

○滑る氷や灼つく砂を踏んで稼ぐもぬしのため。 同 人

○ウラル嵐のそよ吹く野邊に大和櫻がほころびる。 長湍 手島きく子

○朝鮮よい處東をうけて日本嵐がそよ〳〵と。 京城 碧 主

○わしが行く先きまだ程遠い義州奉天蒙古まで。 鐵原 歌 女

○朝鮮半島も草木が生えたやがて滿洲の土おこし。 京城 藤 好生

○微む山々東亞の空に日本男の子と華が咲く。 釜山 大須賀 信

○黍の團子は日本一よ日本魂世界一。 京城 小原 傳吉

○飛ぶよ飛行機旭の引る滿洲曠野を目の下に。 龍山 三村 秋月

○まんしゆ(滿洲)吳れなきや子供でさへもわしは(甓)否むやともう來(蒙古)ない。 仁川 濱田 生

○雞林八道に植えたる櫻やがて滿洲の花となる。 京城 黒川 [illegible]

○京城好い處南山の麓續る漢江に船が着く。 同

○春が來たかよ片山里に柳けぶりて鳴く雲雀。 京城 御 北生

○さりの林を淸めきよめて君のめぐみにもゆる草。 龍山 岡本 島石

○照らす朝日の惠をうけて鷄の林はいや繁げる。 京城 長田 貞

○陸のぬくても空飛ぶ鷲も眺しからうぞ日の御旗。 龍山 紫 泉

○箱になやみし野の八千草も朝の日がさしやいきかへる。 木浦 下 臨生

○雞の林に春風渡り嬉れし櫻の香に匂ふ。 不 眠 海老名 蒼

○曙の雞林旭がさして今じや迷わぬ無事な道。 新義州 伊島 圓樹

○汗と脂に生る、實田して富ませう努力して。 龍山 山田 稔幸

○梅の香りを月ぼそにきいて嬉し鄉から文たより。 沙里院 關口 晩丹

○人は殖えゆく領土はせまい、それで朝鮮滿洲はさらに、蒙古西比利亞ウラルも越えて、露都へ行くのかモスコー市。 京城 長田 貞

○我が大君の御惠の、洽き露に韓の野は、萌る小草も深綠、色を湛へて茂るなり。 鎭南浦 山下 紫雲

○玄海の碧波越ゆれば、島が浮く、根に据りて、日の本の、ますら男の子の經綸は、見よや我が統ぶ亞細亞州。 釜山 大須賀 信

○胞が夢にありける萊苫の、三つ四つ散り居し跡いまこ、立てる大厦の軒なみは、深き偲びぞ增す港。 香港山 樂 天生

○荒波すさぶ海越えて、虎の伏すてふ鷄林の、野邊に寒暑と戰ひて、働く男子の意氣强し。 坡州 野村 秋花

○もゝよろこびは、天地に、みなぎり渡り、春の日を、うら〳〵に、芽ぐむ、草や木に、とりの林の、にぎはしき。 龍山 岡本 島石

○御惠に、開け行くなる、日の本の、限りもいざや、はて知らず、このまゝ深山に住むしづも、いそしむ業の、うれしもよ。 龍山 岡本 島石

○佐保姬の、霞の裳模、彩りて、綠の芝生、花の山、揚る雲雀の、聲だにも、質にや長閑けき、春景色。 鎭南浦 山下 紫雲

○京城片手に、腰に劍、日の丸御旗を押立て、亞細亞の山河を、料理せよ、四百餘州を手始めに。 京城 淸波 [illegible]

○御國から來たこの手紙早く歸れの親心、男子志立鄕關出、業若不成死不歸たとひ此の身は粉になろと一旗揚げなきや歸られぬ。 龍山 中野 [illegible]

○來て御覽虎が獅子かと恐れて居たに聲く惠の神風に今じや山路の手引する、ほんに愉快じやないかいな。 金泉 早瀨生九郎

○打つ槌も鑿ふ鎚音斧の音、日本男子の腕前で亞細亞大洲の奧迄も、ドシ〳〵拓き行く。 金泉 早瀨五九郎

○漢江の月に白頭山の雪、昔も今にかはらねど、大和島根にも鷄い、あの嬉しさうな聲わいな。 平壤 井手 神男

○御國の爲めと散り行きし勇士の御魂をむらへば、昔を語る櫻花、おもかげ偲ぶ花が散る墓の上に。 京城 [illegible]

○虎の棲むてふ大陸の、吹雪のみちをからからと、音も床かしき響かすは浦安國の淸商下駄。 仁川 やゑ 等

○虎の棲む、此の大陸の津々浦々、山風も雨に受け、我が同胞の、行くは、竹の林に草月雨。 同 人

○大和心の種おろし、鷄林八道見るうちに、ゆかしや櫻の色匂ひ、勢の神風吹き送れ、支那滿洲のはてまでも、うれしや櫻の此の匂ひ。 元山 [illegible]

○雞の林に昔の野に、吐く息よし、や凍るとも、大和男兒の血は搖ぐ、目指すは何處、西と北。 京城 龍田 秋郎

○北極の風吹き拂ふ、春風に、面を向けて進みゆく、われ等の行途ひろ〳〵と、なびかぬ草もなかりけり。 仁川 篠田 寬[illegible]

○淸き流に枕して眠る姿の、牡丹臺、調べゆかしき松風に、舞ふや天女の綾羅島。 平壤 井 [illegible] 人

○坊やの父ちやん、そこへいた、品を仕入にロシヤへいた。羨しや北京の日本街、主の留守居に坊のもり。 揚市 池田 香夫

○あかねさす、旗は日の丸、いかだは丸太、下す當夫は武士のね、なんなんく、せきしよをのりこえて、明日は安東縣に着くわいな。 平壤 潮 花

○東亞の空に、日と高く、我が大君の統ませば、見よや、鮮土も、色映えて禿山いつか、みどりなす。 釜山 大角 熊

○十年の昔から國も、御國の光り御代きてか、年毎日毎、開け行く、御代に逢ふこそ、樂しけれ。 京城 鈴木 生

○大和錦のかず〳〵も。織りなす綾は八道の。春は花咲く牛耳洞。情けに匂ふ山櫻。 京城 薩 田

○朝鮮名所で見せたいものは、恩津彌勒に、平壤牡丹臺、建てし動は月尾島神よ、ほかにないぞえ金剛の奇勝。(シヨンガイナ) 仁川 藤井 御東

○なさけにあつき敷島の、大和男子いるはふ潮鮮の、神と君との御惠に、深くうるほふ野山色添ふこそはしき。 定州 みさを

○見やしやんせ、高麗の禿山荒野原、苗を移して鐘な迄も、今は昔しと打眺め、惠みを受けし目出度さよ。 京城 李 舟

○冬は尺餘に氷ることも、夏は黒鐵とろくとも、なさかひるまむたゆむべき、大和男子は働くよ。 坡州 三苫 盛浩

○肉と脂瀦で肥やした土地へ、植えたいものがある、大和撫子か[illegible]郎花、[illegible] 京城 四 鳥

○[illegible] 大邱 村上 [illegible]

○[illegible] [illegible]

○朧に初めし大和男子の高麗下駄は旭の影ふ照る限り潤歩々々の音も冴えて響き渡らん操盡くる迄陸果つるまで。 龍山 鷲林庵主人

○牡丹臺、淸き流れや、美しく、霞め、街も、野も山も、風が彩る、春の色見れば、緒になる、唄になる、花に笑へる、牡丹臺、風に涼しき、大同江、月も流れに、浮碧樓、色增す、箕子の松。 平壤 什 國 生

○千草振る、我れも神代の盤れ種、移り植ゑにしたみ草茂り、嬉しう道ふ鋤鍬の、先から拓らけゆく荒蕪地に、君が惠みの潤ほひ滿ちて、明け暮れ躑躅な野良仕事、住めば都となりはひに、こゝろ耕す妹脊中、[illegible] 仁川 [illegible] 波

○[illegible]樂しい御代とここに、併合の日を、維新とし、國人と諸共に、受くる朝鮮の、山に海の幸。不毛の土地は、赤禿山は、青々と、御代と共に、種々と、御惠みの。露の雫に、生々と、門かへりて、風淸く、月また白し、日は高し。 馬山 [illegible]

○大御代の榮えや、朝鮮に仁川釜山の名も高く、出船入船まれ人のアレなきる、京城の笛鼓に李朝五百年の榮華を語る、青島や大連旅順奉天の御稜威は遠く、空に耀く大正の御代の空に鷄が舞ひにける御代の春こそ芽出度けれ。 京城 阿部 [illegible]

○優しくてそして剛い祖先讓りの強い奴ならば、向ふづら弱い相手は此方から避けても通す日本魂、知らぬ他國へ苦勞しに出てきたみなみ、西ひがし『豐榮昇る御光りの遂かぬ隈も荒波を越えてひろぐる國民の希望は一つ世の榮え』二ツ無い我が大君の御稜威を頭にいそしめば虎臥す野邊や獅子吼ゆる沙漠に冴ゆる月代も淸き願ひのみちしるべ。賴もしいでは無いかいな。 京城明治町 高木 安

祝 三千號記念

今年のハヤリを御覽下さい セル

英ネル

帶地

愈々澤山まいつて居ります

京城 丸一吳服店 電話六三五番 取話一〇九一番

阿里山檜材の大飛躍

畏くも明治神宮御用材として幾多木材中より御選定の光榮を得たる阿里山檜材は千古斧鉞を加へられたる事なき臺灣阿里山一帶の大深山より殆んど無盡藏に伐採せらるゝものにして實に帝國の一大寶庫たり其材質の堅牢なること內地檜材の到底遠く及ぶ所に非ず外觀亦甚優美なり

宜なり一度國內に賣出さるゝや空前の大歡迎を受け瞬時にして外國產木材を驅逐し國產獎勵の實を擧げ得たるのみならず今や更に遠く支那南洋に至る迄旭日昇天の勢を以て外國產木材を壓倒しつゝあり

如斯は實に阿里山檜材の如何に他材に比し優越せるかを明かに證するものにして眞に本材の誇也今本材の持長を左に揭げんに

■阿里山檜材―は內地檜材に比し材質極めて硬く殊に耐久力に富み腐朽することなきを以て尤も堅牢を要する永久的建築用材として他に比類なし

■阿里山檜材―は木理緻密目幅一尺以上の柾目取容易なるを以て最も高等向の用材として極めて好適なり

■阿里山檜材―は樹質堅牢なるが上に價格低廉なるを以て現下極めて不廉にして缺乏せる鐵材代用品として本材の右に出るものなし

■阿里山檜材―は長さ六〇尺以上末口三尺以上迄搬出し得るを以て長大を要する使用向として最も適當なり

■阿里山檜材―は他の針葉樹の如く使用後濕潤乾燥の爲め縱橫共伸縮するの憂は少なし故に建具其他指物用として盛かんに好評を博しつゝあり

■阿里山檜材―は朝鮮鐵道局を初め東洋各地至る所に於て空前の需要を喚起しつゝあり以て本材が如何に他材に優越せるかを知るを得べし

■阿里山檜材―は扁柏と紅檜との二種にして扁柏は材質最良なるを以て高等用材として歡迎せられ紅檜は價格低廉なるを以て廣く需要せられつゝあり

京城府岡崎町
臺灣阿里山木材各種 朝鮮一手販賣店
大二商會 電話二〇九番

特約販賣店
仁川 大二商會木材部 群山 木村支店木材部 平壤 中村組材木店
京城 小森材木店 龍山 大澤商會木材部 南浦 鎭南浦木材商會
釜山 島末材木店 木浦 木下材木店 大邱 佐藤材木店
釜山 山本材木店 木浦 谷村材木店
元山 大二商會支店 木浦 渡邊材木店

御注文の節は多少に拘らず最寄特約販賣店へ御用命被仰付度候

臺灣阿里山木材各種日本關西海外一手販賣元
大日本鹽業株式會社輸入 關東洲鹽販賣代理店
サクラビール釀造元帝國麥酒株式會社代理店
株式會社神戸製綱所代理店
青島鹽直輸入販賣店

神戸 合名會社 鈴木商店 京城出張所
京城府南大門通二丁目 電話二九二・二四番 電信略號受信ケイゼツカ子タツ發信タツヌはタ

十年間に於ける我社主催の重なるもの
‖景福宮内に於ける菊花大會‖

免囚保護事業に就て

司法部長官 國分三亥氏談

免囚は何故之を保護せざる可からざるか‖免囚保護が何故累犯を豫防するか‖免囚保護事業の効果如何

▲保護の必要 免囚は何が故に之を保護せざる可からざる乎、世の一部論者は曰ふ、囚人は國憲を輕んじ國法を破り社會の安寧秩序を紊し、其制裁として刑罰を科せられたる者にして國法の侵害者及び國家の公敵なり、彼等が出獄後社會の冷遇を崇り若くは憎惡を受くるが如きは當然の運命と謂はざる可からず、世には良民にして社會の保護救濟を要するもの甚だ多し、是等は常に國憲を重じ國法に遵ふに拘らず個人の事情又は四圍の境遇に依りて喰ふに食なく著るに衣なく、妻子を擁して饑餓に泣きつゝあり、而も社會は之を救濟する能はざるの現狀ならずや、何の遑ありてか刑餘の罪人を顧るを得むと、此論は或る一部の感想を代表せるものなりと認め得可きも、斯の如きは極めて淺薄なる

▲復讐的感情に基く僻見にして、正義の觀念、人道の精神を滅却せるの論なり。免囚は嘗て法を破り罪を犯したりと雖も、其惡因に對しては既に刑罰の應報を受けて罪業を消滅せり、而かも深く其の前非を悔悟し翻つて新生活に入らむとする者なるに、何ぞ其舊惡を咎め之を憎惡し饑寒に陷らしめて以て當然の運命なりとするが如きは正義人道の要求に背馳するものと謂はざる可からず、且犯罪なるものは多くは社會に於ける四圍の境遇の作れる産物にして社會も亦其一半の責に任せざる可からず、從つて之を救濟するは社會當然の義務なりとも謂ふを得可し、加之、免囚は競爭場裡の落伍者にして精神的大患に陷れる可憐者なるが故に、之を救治するは亦博愛仁慈を旨とせる道德にも合致するものと謂ふ可し。斯の如く免囚保護は一の慈善問題としても頗る適當なる一事業たるは疑を容れず、然れ共予が其

▲必要を唱道するは免囚保護が慈善事業なるが爲めに非ず、所謂刑事政策上極めて重要なる意義を有せる事業なるを以てなり。刑事政策とは犯罪の豫防及び鎭壓を目的とする政治上の施設を謂ひ其干與する處頗る廣汎也、刑事を直接取扱ふ政治機關は警察、裁判及び監獄の三者にして是等の機關は專ら犯罪の豫防並に鎭壓に努むと雖も、其成績を顧るに犯罪の數は更に減少せざる而已ならず累犯の如き内地は素より朝鮮に於ても亦漸次増加の傾向あるは實に遺憾に堪へざる所なり。這は直接刑事を取扱ふ機關の施設未だ完璧ならざるも一因なる可きが故に其機關に於ても亦責任の一部を分たざる可からざるは勿論なり、然れども將來如何に刑事制度を改善し又た如何に刑事機關を完整するも、之れに依りて完全なる目的を達し得可からざるは言を俟たざる處にして、必ずや社會一般に於て犯罪防遏の必要を認識し、政治機關と相提携して以て

▲益奮勉努力するの必要なるは疑を容れず、之れに對しては不良少年の感化事業も必要ならん、浮浪者の收容所も必要ならん、救貧の如きも亦極めて重要ならん、其の他宗敎敎育の普及、殖産興業の隆昌等一として犯罪防遏上適切の施設ならざるは無きも就中最直接に其必要を感ずるは免囚の保護事業也。累犯者が漸次増加の趨勢に在ること前述の如し、今之を朝鮮の實情に徵せんに、大正元年の再犯者は新受刑者百人中十人强に過ぎざりしもの、大正二年に於ては十三人强となり、大正三年に在りては更に十六人强を示せり、又た在監者に就きて調ぶるに其過半數は累犯者に屬するを見る、此故に刑事政策は累犯者を豫防するを得ば其目的の大半を達したるものと認むるを得可し、免囚の保護は即ち此累犯を豫防するものなるを以て刑事政策の免囚保護に負ふ處至大なるは論を俟たず

▲犯罪の豫防 免囚保護が何故に累犯を豫防するか、犯罪人は刑罰に依りて社會より隔離せられ、人間の生存に於て最も必要なる社會的生活の練習を缺如す、然るに刑期の滿了と共に突如として其の適應せざる社會の下に再び復歸せしめ、忽ち社會的生活を營ましめんとするものなるが故に、其間に處して獨立的生活を營み得ざるもの多きは怪むに足らず、之に對して相當の後見者を要することは勿論なり、免囚保護事業なるものは斯の如き場合に於て免囚の後見者たらむことを期するものなるを知らば、何人も其必要を否む者無かる可し。試に思へ

▲犯罪の結果 繫獄の身となるに至りては如何なる兇惡の徒と雖も國家の法律と其威力に克つ能はざるを認識し、自由が如何に尊ぶ可くして自由刑が如何に苦痛なるかを會得すると共に、悔悟の念油然として起り家を懷ひ妻子を慕ひ、出獄後は必ず正業に就きて忠良の人民たらむことを誓はざるもの殆んど稀なり、多數囚人中には時に出獄後の再犯を企つるが如き者無きに非ざるも、斯の如きは所謂先天的兇徒にあらずんば慣習上先天的となれる惡漢に止ま

(以下第三面へ續く)

祝三千號記念

瑞興警察署
内地人職員一同

新幕驛前
御旅館 新幕館
舘主 白上密藏

京義線沙里院
御旅館 筑前屋
舘主 邊渡礒吉
位置は沙里院中央にして至極便利の場所とす

新幕驛前
御旅館 貿易商 官鹽販賣
甲陽館
舘主 小澤秀一

新聞大取次 敎科用圖書 並朝鮮總督府 其他一般圖書 雜誌類取次販賣
廣川新聞舖
有隣生命保險株式會社 報國公債株式會社 恩給年金立替 沙里院代理店

黃海道黃州
片倉組農場
山林種苗業 片倉組 林業部

黃海道瑞興郡廳
鄭瑀鎔
鎌田正夫
貞廣重太郎

祝三千號記念
平壤大和町 (橋) 吳服店 電話四十六番
平壤大和町 (京) 吳服店 電話三十五番

祝三千號記念
山富士 醬油 龍上 ほまれ味噌
(龍)
釀造元 朝鮮仁川港
日本醬油株式會社 電話七百五十一番 振替京城一七四番
京城大平通二丁目
京城出張所 電話七百四十五番 振替京城五二三番

祝三千號記念
平壤山手町
朝鮮總督府御指定旅館
柳屋
電話長二〇六番

祝三千號記念
平壤鏡齊里
(宮) 醬油 宮川商店
電話五五番

祝三千號記念
南滿洲鐵道株式會社 撫順炭特約販賣 京城三國商會代理店
平壤本町
平松商店
電話長一六一番

祝三千號記念
輸入貿易 綿糸綿布商
河野商店
平壤大同門通 電話一一五番

祝三千號記念
平壤電氣株式會社
電話五六番

祝三千號記念
平壤南門通り四丁目
貿易商 双喜號
電話六二九番

祝三千號記念
春衣諸品 セール・帶地 英ネール
本年式流行何品共高値以前の約定品取揃え昨年と同樣の値段に勉强仕候間不相變御引立の程奉希上候
織物産地直移入
(三) 平壤府本町 竹中吳服店 電話四六五番

（第二面よりの續き）

り、十中八九は再び罪科を犯さゞるの決心を抱き獄門を出づるなり。然るに一度獄門を出づるや世は彼等に對して舊の如くならず、父兄猷んで迎へず、舊知亦之を疎隔す、況むや一般社會は之を待つに

▲刑餘の廢人 を以てし行路何ほ途を同じうするを耻づの狀態なり、茲に於てか彼は孤り諸方に職を求むるも得ず、偶之を得るも前科者たることを發覺して直ちに解雇せらる語ふに友なく、訴ふるに同情者なし斯くて出獄の際獄より受取りたる賞與金は皆無となり喰ふに食なく住むに家なく、饑餓身に迫りて遂に出獄時の決心を破りて、同房の出獄者を訪ひ其誘惑に陷りて再び惡事を犯し遂に復た獄裡に呻吟するに至る、斯の如きは其一例に過ぎざるも久しく獄裡に在りし者にして出獄後の保護充分ならざるが爲め種々の事情に依りて獄中の決心を破り再び罪科を犯すの餘儀なきに至る者多きは疑なき事實也。斯くの如くむば國家が多額の經費を投じて刑を執行せる效果も監獄職員が滿腔の熱血を注ぎて彼等の心田を拓き、道を敎へ業を授けて出獄後生業に復し、忠良の臣民たらしめむことに努めし勞苦も、全然水泡に歸せる次第にして遺憾措く能はざる處なり

▲事業の效果

免囚保護の必要なるは前說に依りて略了解せし處ならむも更に此事業が果して有效なるや否やの問題あり。予は本問題が免囚保護の必要なるや否やの問題よりは寧ろ必須の重要問題なりと信ずるが故に此點に就きて聊か卑見を開陳せんとす、抑も免囚保護の有效なるや否やは、本事業其者にあらずして事業の實際的經營方法如何に依りて決せらる可き問題なり、若し其經營方法にして宜しきを得ずむば、啻に有効ならざる而已ならず却つて有害なる結果を來すの虞あり、萬般の慈善事業の如き、事業其者は素より善良なれど、其方法宜しきを失せるが爲め却つて弊害を遺すこと敢へて珍らしからず、保護事業亦其軌を一にせるを以て、苟くも此事業に從事せる者は

▲仁愛の熱情 を以て而かも盲目的感情に動かさるゝことなく、進むで社會國家の爲め本事業の眞意義と其方法とを了解し、相當經驗の下に施設經營宜しきを得るに於ては其效果の見る可きものあること疑を容れざる處なり、朝鮮に於ける再犯者を調査するに其多くは放免の際何等の保護を受けざりしものにして若し之に適當なる方法を加へたらむには再び犯罪に陷るが如きことあらざりしならむと思惟さるゝ者多きに徵するも思ひ半に過ぐるものある可し、然れども假令如何に保護事業を擴張し又如何に其施設を改善するも免囚の全部を收容して之れを保護するが如きは實行し得可からざる而已ならず却て有害なるを以て免囚は

▲改悛の見込 充分にして且之を保護するに非れば再犯に陷る虞ある親族知友の保護なき者に限らざる可からず、故に一般社會に於ては免囚保護の必要なる理由を理解し同情を以て適當なる援助を與ふ可く歸住地に於ける官憲殊に面、里洞長の如きは率先保護の任に當り、出獄者をして自營の途を得るに易からしむるの要最も切なり

何ほ進むで保護機關の組織を如何にす可きか、業務執行の方途を如何にす可きかを研究するは最も重要問題なるも、這は他日を期して更に論究す可く、今は唯だ世人が之れに依りて免囚保護を必要とするの概念を得ば予が望は即ち足れり

朝鮮に於ける商業取引（二）

京城商業會議所調査

▲織紐商

二、內地人と鮮人との取引方法

內地人に掛賣をなしたる時は支拂期限三十日以內の約束手形を振出さしむ、內地人の卸商は之を買受け地方の小賣商に販賣し掛賣の場合は毎月末及び毎市日（市日とは市場を開く日のことにして地方の市場は五日目毎に之を開く）に收入するを常とす、多數の品に就ては約束手形を徵することありて支拂期限は双方の契約に依り定むるものなれば一定の期なきも極めて短期なるを例とす

三、外國人と鮮人との取引方法

外國人とは未だ取引をなしたることなし

▲紙物商

一、鮮人間の取引方法

卸商より小賣商に掛賣する時は一箇月乃至二箇月期限の約束手形を以てし仲介人（居間）中間に立ちて決濟の責任を負ふ場合は信用取引に依り決濟期間は現品を渡したる日より三十日間內とす若し、期限を經過するときは毎把守に分割して收入す、通帳を使用するものは毎月末計算なるが甲の所持品を乙に於て讓受け乙の所持品を甲に於て讓受くることあるが故に毎月末に於て双方の通帳を計算して差引殘額のみを勘定することも多し。小賣商の消費者に對する掛賣は通帳を使用するものと信用に依るものとに種類ありて何れも毎月末に計算す又裝具師（塗背匠工）に對する掛金は毎把守に收入する例なり。

二、內地人と鮮人との取引方法

內地人に對する掛金は現品領收の日より三十日間限りの約束手形を振出すも少量の物品には通帳を用ひ毎月末に之を支拂ふ但し洋紙は六十日間の期限を以て決濟する例なり

三、外國人と鮮人との取引方法

外國より輸入するものは天井紙（洋定班子紙）にして之は當地の大昌洋行、世昌洋行等に委託注文し斯る場合は注文品の多少に拘はらず金二十圓以上の契約金を差入れ現品入手の上は領受の日より六十日間の約束手形を振出すものとす。

▲柴炭商

一、鮮人間の取引方法

卸商は直に京畿道の楊平、廣州、江原道の春川、浪川等の地方より買入れて小賣商又は消費者に販賣するものなり卸商の買入する時は同地方の該商人に對し前金拂にするか又は現品を受領の上現金を支拂ふ、前記の前金拂の金額に對して手數を[illegible]すことあるも期間は僅か一把守乃至二把守なりと云ふ。卸商の小賣商に對する取引は掛賣八割以上にして何れも信用取引なり、消費者に對しても同じく信用取引にして掛賣代金は毎把守に收入すと雖も延滯すること多く舊の年末に至り漸く決濟するを常とす小賣商の消費者に對する掛賣は信用取引と通帳取引約半々數にして毎月二十一日より末日迄に回收す

二、內地人と鮮人との取引方法

卸商と小賣商との間に於ける取引は別段參考となるべきものなく小賣商と消費者との取引は現金賣買を例とし少數の掛賣代金は毎月末に計算す

三、外國人と鮮人との取引方法

外國人には未だ取引なし

祝三千號記念

京義線沙里院 米雜穀委托業 安井商店 追て精米所設備中に御座候間精白韓白を問す御用命願上候

京義線沙里院 木材販賣 建築請負 洋家具並建具調製 左官材料 渡邊商店 日本生命保險株式會社代理店

沙里院驛 中島公平

京城中村農場沙里院出張所 主任 山本久吉

京義線沙里院 位田藥房 東洋生命保險株式會社沙里院代理店

京義線沙里院 中上喜助

京義線沙里院 古田貫一 日清生命保險株式會社代理店 橫濱火災海上運送信用保險株式會社代理店 有名藥種販賣並質屋營業

京義線黃州邑內 御料理御旅館 松月 三根長七

黃海道黃州郡 黃州地方金融組合理事 松本清司

日海興業株式會社沙里院出張所 田北政治

祝三千號記念 京城本町 三越吳服店 電話長一五六九番 長二六三二番 長三二五一番

祝三千號記念 京城昌德宮門前 毛織物洋服調進 角田支店 電話二八九番

祝三千號記念 京城本町二丁目 花月 電五七番三三〇番

祝三千號記念 京城本町二丁目 千代本 電話一一三五番二七七九番

祝三千號記念 京城永樂町 清華亭 電話二五番

絶大の歡迎各學校の賞與品 各官衙の備品圖書館等 各方面より注文蝟集す

名著傑作特價大提供

★至誠堂書店創業第七週年記念・熱狂的大歡迎驚くべき大廉價 期限短期三月卅日限

警告

歐洲戰亂の爲めに洋紙輸入の途絶えて紙價は連日暴騰す 特價〆切と同時に定價改正値上斷行の止むを得ざるに至るべく又低廉に過ぎて重版到底不可能の品をも生ずべく此の特價の好機會は再び來らず期限は極めて短期速に御買上あれ

本文庫は現代文壇の中心點

大正名著文庫

讀書界の視線本文庫に集中す

▲四六判特製美裝 紙數各冊三百頁以上 ▲定價各冊金壹圓廿錢 郵稅各冊金八錢 特價各金九十八錢

第壹編 和田垣博士著 **兎糞録** ◎大正出版界を震動せる破天荒の一大快著、收むる所百三十餘篇悉くこれ金玉の大文字、好評洒出天下無比、重版又重版停止する所なし

第貳編 大町桂月著 **人の運** ◎著者一流の觀察と文辭とに依りて不朽の眞理を作れる者、各々皆快ふべく、眞に處世活動の指針立身出世の要訣なり

第三編 杉村楚人冠著 **へちまのかは** ◎時事新報曰く、著者廿年間の波瀾ある生活を縱述せしもの、氏獨得の調子と奇想天外の着想と飄逸無盡の筆致とは斷じて他の模倣追随を許さゞる所

第四編 浪六著 **萬倒録** ◎先生一流の筆鋒を以て片端より小氣味よく罵倒せる社會觀人生觀にして讀過人心を縱横轉倒せる所頗る痛快を極む

第五編 和田垣博士著 **吐雲録** ◎日本曰く、本書の如きは明治から大正へかけての國華物として必ず後代に興味を持たせる者に相違ない

第六・七編 浪六著 **四十七士** 上下 ◎全網これ忠實と趣味との結晶せるもの他に類を許さゞる先生一流の痛快なる筆法は千古の忠肝義膽を描出して餘蘊なし

第八編 幸田露伴博士 **先心録** ◎萬朝報曰く、深玄微妙なる人格の響を有する其思想、天衣無縫の天衣を思はしむる其文、固に著者として展に著者は當代に傑出す

第九編 竹越三叉著 **三叉文存** ◎讀賣… 卓越の識見、俊逸の筆致、篇々皆著者が會心の一大文字にして字々珠玉の如く觸るゝ所鏘然として聲あり

第十編 前田慧雲博士 **活修養** ◎讀賣新聞曰く、吾人の日常生活に必要なる通俗道德を說く、思ふに是れ萬人の座右缺くべからざる現代の新論語か…

第拾壹編 加藤咄堂著 **人の心** ◎心を中心とし其靈妙の作用機微の影響を闡明せしもの、論旨平明行文暢達讀過人心の機微刺鋭として默會せらる…

第拾貳編 大内青巒著 **破木杓** ◎高僧傑士の逸事、宗教人生自然に渉りて說く處、よく萬人の琴線に觸れ多大の感動を與ふ、平淡なる文字の裡に人格の浮き出るあり…

第拾參編 長谷川如是閑 **掏摸から** ◎日本及日本人曰く、一種のウイツトを以て奇想を續る、如是閑氏の世に知らるゝに至りし其處女作は、之を本書に求むべし

第拾四編 森鷗外博士著 **妄人妄語** ◎文藝を論じ倫理宗教を說き又文明を批評す、高遠の思想洗錬の行文相俟つて最高藝術の權威たり

第拾五編 前田慧雲博士 **樂しい人生** ◎先生博學多識、諄々として說き懇々として論す、大道に徹底して趣味津々、之を讀む者誰か婦々たらざらん、修養の一大寶典たり

第拾六編 幸田露伴博士 **悅樂** ◎時事新報曰く、言辭珠玉の如く立意深遠醇乎として學を勸むる所現代文壇の偉觀、大正の新勸學篇と云ふに躊躇せず…

第拾七編 加藤咄堂著 **旅から旅** ◎東京朝日新聞曰く、著者廿年來旅の生活は足跡殆んど天下に遍く其見聞する所之を典籍に證し獨得の才華記述頗る興趣あり

第拾八編 菊池幽芳著 **幽芳集** ◎著者が佛國巡遊中に得たる見聞小品を始め最近の短篇を收む、各篇小說よりも興味多し、梨本宮妃殿下を中心とせる航海日誌特に妙

第拾九編 浪六著 **放言録** ◎時事新報曰く、理に走らず情に屈せず何を恐いで吐出す所に謂ふ可らざる甘味あり近來本書に匹敵すべき面白き書なし

想痕 三宅雪嶺博士著 菊版特製紙數千四百頁 ▲定價參圓八拾錢 ▲特價金貳圓八拾錢 ◎萬朝報曰く、戰爭、修養、思潮、教育、政治、人物、雜の七篇より成る、文中一字の無駄なく、博士獨得の筆致著想寶石の輝きを有し、一書齋に現下の思想言論界に重火を投ずる者

修養の礎 大町桂月先生著 菊版特製紙數九百頁 ▲定價貳圓八拾錢 ▲特價金壹圓七拾錢 ◎總論、精神、個人、家庭、學業、活動、交際、國民、國家の九篇より成り、著者自ら其圓熟の思想と錬達の文章を以て青年修養の本義を說き進取的模範的國民の本領を說示す。

處世の道 大内青巒先生著 菊版特製紙數七百五十頁 ▲定價金貳圓 ▲特價金壹圓五拾錢 ◎新修養曰く、切々たる言辭は慈父の如く、激烈なる教訓は嚴師に接するの思あり。況や立志の大道說いて盡さゞるなく、處世の秘訣語りて洩す所なし。眞に活社會の一大寶典。

戰に使して 杉村楚人冠先生著 四六版特製紙數六百頁 ▲定價壹圓六拾錢 ▲特價金壹圓貳拾錢 ◎大阪朝日新聞曰く、戰亂中の倫敦を視察し、佛國に戰跡を弔ひ、太刀を捧げて白國皇帝に親謁し、詩筆を携へて蘇國の秋を訪ふの記事等、著者一流の輕快なる筆致、よく其の光景を描き盡す。

修養小品 加藤咄堂先生著 四六版特製紙數五百頁 ▲定價壹圓貳拾錢 ▲特價金九拾五錢 ◎靜的修養には力の蓄積を論じ動的方面には其發展を說き靜動二面より修養の眞理を究む。修養時言、修養の感興、宗教と修養、修養道話等皆新時代新生活に照應する修養論なり。

我五十年 浪六先生著 四六版特製紙數四百六十頁 ▲定價壹圓五拾錢 ▲特價金壹圓貳拾錢 ◎太陽曰く、舌端素爽闊達の氣が張切つて居る。著者が俠客の孤兒たる生ひ立より「三日月」の一篇にて文壇に名を成すに迄の波瀾重疊の經歷は陳腐なる傳奇小說よりも遙に面白い。

★全國各書店にて販賣す 注文激增 紙質の撰良なる名著を廉價に得る時は今！ 紙價は連日暴騰す此好機會は再び來らず即時購求あれ

新譯漢文叢書

縮刷袖珍特製天金美本（郵券二錢を投じて內容見本を要求せよ） 重版又重版

特賣書目	正價	特價	郵稅
(1) 新譯日本外史 大町桂月譯評 ◎紙數壹千貳百頁 萬古不朽の名著文部省所定の假名遣に依り小學兒童にも容易に讀むを得しむ	[illegible]	[illegible]	八
(2) 新譯文章軌範 友田宜剛譯解 ◎紙數壹千百頁 精神修養・作文練磨・漢文獨學の大寶典	一・二〇	[illegible]	八
(3) 新譯孟子 濱野知三郎譯註 ◎紙數八百頁	[illegible]	[illegible]	八
(4) 新譯日本樂府 大町桂月譯評 ◎紙數參百五拾頁 文章は奔放自由な極めて綺機發比喩巧妙實に不朽の天品世界の一大文學者	[illegible]	[illegible]	六
(5) 新譯日本政記 大町桂月譯評 ◎紙數六百五拾頁 經綸の氣魄と筆致とを感動せしむ	[illegible]	[illegible]	六
(6) 新譯十八史略 久保天隨譯評 ◎紙數七百頁 一々構密に譯謬を正し難解の語に解釋を施して日本政記の面目一新す	[illegible]	[illegible]	六
(7) 新譯續文章軌範 友田宜剛譯解 ◎紙數九百參拾頁 正編と相俟つて古今作文書の雙璧	[illegible]	[illegible]	八
(8) 新譯國史略 大町桂月譯評 ◎紙數九百六十頁 現代國語の文法に準據し漢文に特殊なる語勢の綾を併せ移し難解の字には註解を施す◎卷末に新式索引を添ふ	一・二〇	[illegible]	八
(9) 新譯水滸全傳 上 久保天隨譯補 ◎紙數壹千參百頁 先生之を譯し之を解し更に適切なる批評を適所に加へ貴重なる國史略茲に復活す庶くは以て時弊を救ふべし	一・二〇	[illegible]	八
(10) 新譯水滸全傳 下 久保天隨譯補 ◎紙數壹千貳百頁 著想奇拔にして結構の大なる文章雄勁にして而も直截簡明なる百八人の豪傑各特色を發揮して翻山倒海の趣あり	一・二〇	[illegible]	八
(11) 新譯論語 大町桂月譯解 ◎紙數八百五十頁 我國體人情時勢の異同を觀察し活眼を開きて本書を心解す全篇五百章悉く金玉の大文字生氣躍々人の肺腑に徹す	一・二〇	[illegible]	八
(12) 新譯演義三國志 上 久保天隨譯補 ◎紙數壹千壹百頁	一・二〇	[illegible]	八
(13) 新譯演義三國志 下 久保天隨譯補 ◎紙數壹千頁 先生新に流暢なる快筆を揮ひ險迭なる原書を譯して面目を一新す光焰萬丈血躍り胸鳴る、讀必ずや案を拍て起たん	一・二〇	[illegible]	八
(14) 新譯大學中庸 濱野知三郎譯註 ◎紙數三百五十頁 和譯の正當なる註釋の穩健なる青年子弟の讀物として最も現代に適切す	[illegible]	[illegible]	六

著者	特賣書目	正價	特價	郵稅
[illegible]	國民道德訓	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	大勢史眼	[illegible]	[illegible]	[illegible]
松內冷洋	世界大戰史	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大町桂月	箱根山	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同	新訂日本外史	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同	文藻三百題	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同	[illegible]筆	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同	四十七士觀	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同	日本の弓矢	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同	桂月文選	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同	文章大辭林	[illegible]	[illegible]	[illegible]
友田宜剛	作文新辭林	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同	作文寶鑑	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同	大正新書翰	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同	實用新辭典	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	青年諸君	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同	世界商業史要	[illegible]	[illegible]	[illegible]
熊田葦城	大阪陣 冬	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同	同 夏	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	古事記讀本	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	歐米小感	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三上正毅	外遊十二年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
柳川春葉	[illegible] 前編	[illegible]	[illegible]	[illegible]
竹中信[illegible]	孝經講話	[illegible]	[illegible]	[illegible]
牛門學士	偉人百話	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同	續偉人百話	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同	山陽外史	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安東鶴城	寸鐵警句集	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	[illegible]言[illegible]語	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	ヤンキー	[illegible]	[illegible]	[illegible]
湘川支耳	一萬金	[illegible]	[illegible]	[illegible]
[illegible]	御大喪記 全	[illegible]	[illegible]	[illegible]
蘆川忠雄	乃木大將と夫人	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同	父の書簡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同	修養と人物	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同	修養座右錄	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同	克己座右銘	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同	談話術修養	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同	交際と應對	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同	[illegible]なかれ	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同	時間の經濟	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同	奮鬪の本領	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同	勤儉の實踐	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同	勤儉の教訓	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六[illegible]	男女の戰ひ 正	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同	同 續	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同	黑雲	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同	雪達摩	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同	日露戰爭	[illegible]	[illegible]	[illegible]
篠原嶺葉	旅順の花	[illegible]	[illegible]	[illegible]
笠[illegible]	水戶光圀	[illegible]	[illegible]	[illegible]
碧瑠璃園	高山彥九郎	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同	白河樂翁 前	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同	同 後	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同	春日局	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同	大石陸女	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同	運命	[illegible]	[illegible]	[illegible]
中村白鳳	後藤又兵衛	[illegible]	[illegible]	[illegible]
若菜貞人	蒲生氏鄉	[illegible]	[illegible]	[illegible]
瀬戶半眠	珍々問語	[illegible]	[illegible]	[illegible]
瀬川博士	育兒のをしへ	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同	小兒手當法	[illegible]	[illegible]	[illegible]

浪六全集

袖珍縮刷天金特製美裝

特賣書目	定價	特價	郵稅
第壹編 當世五人男 前後 / 黑田健次 前後續々	[illegible]	[illegible]	八
第貳編 上田力 前後 / 倉橋幸藏 前後續	[illegible]	[illegible]	八
第參編 川上三吉 前後續 / 吉田雄藏、花車	[illegible]	[illegible]	八
第四編 八軒長屋 前	[illegible]	[illegible]	八
第五編 八軒長屋 後	[illegible]	[illegible]	八
第六編 鬼あざみ 大和心 / 日本武士 金剛盤	[illegible]	[illegible]	八
第七編 岡崎俊平 魚屋助左衛門 / 呂宋助左衛門 古賀市	[illegible]	[illegible]	八
第八編 居家處世 人間學 正續	[illegible]	[illegible]	八
第九編 男山 前後 男一疋 / 高倉長右衛門 前後	[illegible]	[illegible]	八

學生文庫

大町桂月先生校訂解題 ●史傳●修養●教訓●文藝●隨筆の古典名著傑作

◎縮刷袖珍 ◎型本堅牢 ◎特製美本 ◎定價各金參拾錢 ◎記念特價各金貳拾錢（郵稅各冊四錢…）

特賣書目：（一）南朝史傳（二）日本外史（三）益軒十訓（四）謠曲全集（五）曾我物語（六）西遊記（七）源平盛衰記 … [illegible]（至四十二）

先づ本書を備へよこれ英語學上の先決問題なり

井上英和大辭典

英語學上必須の三大條件 第一に自己の努力 第二に良師の誘導 第三に本書の使用

右は動かす可からざる眞理として學者の一致する所なり第一第二は云ふまでもなく第三また決して忽諸の言に非ず確固たる事實なり何となれば自己と良師とに次いでは辭書の效力を最とす而して辭書中の辭書は井上英和大辭典ならざればなり。

▲東京朝日新聞曰く 英和辭書中語數の…と譯語の妥當と熟語、文例の各方面に於て…井上氏が多年の經驗に…成りたる所…

▲大阪朝日新聞曰く 從來の英語辭書に比して遙に其の頭角を抽んでたるもの…

▲大阪每日新聞曰く 時世出版の辭書中稀に見るところ…

▲東京時事新報曰く 此の如きはスタンダード… 最新文明の生みたる新造語新術語に…

▲萬朝報曰く 井上氏の辭典は飽く迄常識的にして此點に於て既出の辭書を壓す…

▲世界新聞曰く 本辭典一度出でゝ後は在來の辭書は悉く學生の手裡より拋擲せられて復た用を爲さゞるに至らん…

何故に本書は辭書中の辭書なるか

▲語數の豐富 ▲文例の饒多 ▲熟語の網羅 ▲新語の包有 ▲編纂の巧緻 ▲檢索の至便 ▲譯語の明確 ▲註解の懇切 ▲術語の詳解 ▲發音の正確 ▲印刷の鮮明 ▲製本の堅牢 なる點に於て一切の類書に超絕するが故に

◎語數實に貳拾萬語 紙數（本文貳千參百貳拾六頁 附錄 頁） ▲總クロース特製裝幀美 ▲縱五寸六分 ▲橫參寸壹分

◎定價金貳圓五拾錢（郵送料拾貳錢） 特價貳圓貳拾錢

內容見本 御申越次第進呈す

東京市日本橋本石町 至誠堂 振替東京 四一七